

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年1月21日（土）18:00 ～ 18:56
会 場	観光情報センターぽっぽ
自治会名	本町第1自治会、本町第2自治会、本町アカシア自治会、本町団地自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、樋爪企画課長、村岡企画課主幹 10人</p> <p>【自治会側】 8人（男性7人、女性1人）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～ 樋爪企画課長
自治会長挨拶	<p>18:00～ 本町第1自治会 自治会長 皆さん、お晩でございます。 本日は、お休みのところ、町長さんをはじめ町職員の方々にお越しいただきましてありがとうございます。今日はよろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	<p>18:02～ 大野町長 皆様、お晩でございます。 今日はたくさん雪が降りました。もう少ししたら晴れると思いますので、体に支障のない範囲で雪かきしていただければと思います。 今日の懇談会は、コロナ禍の中で、ゆっくり皆様方とのお話しする時間が取れないということがありますけれども、その中において町の難しい行政運営にご協力いただいておりますけれども、この機会ですので思っていることがありましたらどんどんご意見をいただいて、町政に反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p>
職員紹介	18:03～ 樋爪企画課長
資料説明	<p>18:05～ 渡辺町立病院事務長 ・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について</p>
質疑	18:07～ なし
懇談希望テーマ 自治会員A	<p>18:08～ ①空き店舗について（静宝通りの店舗） 空き店舗については、町長さんも学校を卒業した後、よく静内にきていたと思います。その頃からやっているお店も辞めていなくなっている人もいますが、お客さんからどうにかしてほしいという声も出ています。元の●●さんというお店で、元は●●さんがやっていたが、今は息子さんしかいないようで、本人に聞いたら、もう所有していないのでわからないということでした。その後誰のものか聞いたがはっきりしない。住宅の内壁や玄関の窓も割れ</p>

藤沢保健福祉部長	<p>て崩れそうな状態になっている。その横にあった●●●●●というキャバレーのシャッターも風が吹いた時に壊れてしまって、私たちの班でコンパネを使って修理した。人の家なので勝手に触ることができない。できれば、町で持ち主を調べていただき、どうにかしてほしいと思っている。そこは1件だけでなく隣も窓ガラスが割れて猫が出入りして通っても恥ずかしいところがある。私たちが触ることができないため、何とかしてほしいと思っている。</p> <p>空き店舗というよりは空き家対策についてですので私から説明します。</p> <p>元の●●さんのところを含めて新ひだか町でも空き家が多くなってきています。新築の家は建てても古い家を壊さずそのままになっている場合や相続の問題があつて壊せないなど、いろいろな問題があつて空き家が増えている状況です。まだ住める状態のものでもご遺族の方が売らないということもあるので、これからも空き家は少しずつ増えていくと思っています。</p> <p>町では、空き家の実態調査に基づいて計画を作っています。計画の中で所有者を特定し、その所有者に対して文書で通知をしています。お金のことやいろいろな諸事情から空き家の整理をしていただけない状況です。今後につきましては、現計画が令和5年度で終了しますので、新たな計画を立てるために、令和5年度中に再度調査をさせていただきます。その調査に基づいて対応させていただきます。空き家を壊していただくにも時間がかかるため、まず、最初に所有者に文書で通知して、その後も対応していただけない場合は、指導、勧告という順番で対応することになります。それでも対応していただけない場合は、町で特定空き家として特定し、最終的には強制代執行と言ひまして、危険であれば町で壊して所有者にお金を負担していただくという制度ですが、時間やお金がかかるため、できる限り所有者に説明をすることで今後もやっていきたいと思っています。危険なところは他にもありますので、令和5年中に再度所有者に通知していきたいと思うのでご理解いただきたいと思ひます。危険であれば我々も監視させていただきます、被害が出ないように対応させていただきます。町が壊すのは難しい状況になっておりますので、法律が変わることに期待していますが、町でパトロールしながら危険がないように対応させていただきます。町が壊すのは難しい状況になっておりますので、法律が変わることに期待していますが、町でパトロールしながら危険がないように対応させていただきます。町が壊すのは難しい状況になっておりますので、法律が変わることに期待していますが、町でパトロールしながら危険がないように対応させていただきます。</p>
自治会員A	<p>町内に飲み屋さんがたくさんあるが、以前は住んでいる人が多かったがほとんどの人が通いになっている。夜になったら空き家になっているところが多いので火事にでもなったら大変だと思う。以前は旅館等もあつて昼間も人が多く通っていたが、今なら通る人がなく寂しくなっている。</p>
大野町長	<p>私たちが若い頃はよく行きました。おっしゃることはよく分かります。担当部長から説明があつたとおり全町的にも空き家は多くあり、2年程前にもやっていますが、調べ直して所有者に連絡取つてしっかり対応していただくように所有者の方をお願いしていきたいと思ひます。危険な状態であれば役場に連絡をいただければ見させていただくことにしますのでご理解ください。</p>

自治会員 A	<p>夜になったら文化通りから静宝通り、中通りにくる人が多い。空き家になっていて壊れているのを見ていたらかわいそうな気持ちである。</p>
自治会員 A	<p>②下水について（雨水排水からの悪臭）</p> <p>下水道のことですが、静宝通りに映画館ができた時に道路が出来て、その後すぐに住宅が建ったので、排水を作るのが住宅の建った後だった。そのため、排水より低い住宅がかなりある。道路側溝に生活排水を流しているところもあると思う。夏場になると側溝からものすごくくさい臭いがするため、町で年2回程度汲み取って清掃してくれている。できれば、暖くなる前にもう1回くらいやってほしいと思っている。その時に臭いを確認してほしい。</p>
水谷産業建設部長	<p>異臭の原因と思われるものは、雑排水が道路側溝上に接続されて流されていると思われ、会長のおっしゃるとおりだと思います。その異臭対策として現在行っているのは、年に数回、道路側溝内の清掃を行っています。ここ最近は、コロナで夏まつりを控えています。夏まつり前やイベントの際に必ず事前に清掃している状況です。</p> <p>現状の確認については、すでに担当の建設課で夏場の暑い時に現場を見て異臭を確認しています。生活雑排水については、本来下水道に接続しなければならない区域になっていますので、接続してもらうことが大切になります。上下水道課では、下水道の未接続の対象者に改善を促す依頼文書を年2回程度通知しています。また、適宜訪問等をして説明を行って、下水道の接続についてお願いしています。地道なPR活動になりますが、こういった活動をすることで接続してもらっている方もおりますので、通知を含めて町広報やフェイスブックなどを活用しながらPRを強化し、快適な生活環境に実現に向けて取り組んで参りたいと思いますのでご理解願います。</p>
自治会員 A	<p>③古川の件について（増水時の対策）</p> <p>古川の件ですが、私たちの住んでいる近くにあって高校の方から流れている真沼津川ですが、だいぶ前から目名川の方に流れるようになった。柏台の下の川もまっすぐに流れるようになって水の量も少なくなってよかったと思っている。神森から町の方へ全部の水が古川に入るようになっている。高校前の藤沢組さんのところや消防の横の川、幼稚園の裏を通してあさひの下の方を通して全部古川へ流れ込んでいる。私の記憶では、小さい頃は古川の水の量も多くてきれいで泳いでいたが、今は泳げない。藤沢組さんから農協付近は土砂上げや草刈りを年2回程実施してくれているが、3.4年前に水が出た時は、あふれて1メートルくらいの水が溜まって、道営住宅の1階の方が半年以上住めなかった。以前は駅前から高校までの道路は家がなく牧草地や池だったため、水が出るのは今も続いている。住宅が建って工事が難しいと思うが、土砂や柳の木を切って流れやすくしてもらいたい。</p> <p>10年程前から海岸線が非常に近くなった。潮の満ち引きで真沼津川も30センチ</p>

水谷産業建設部長	<p>ちくらい水位が変わる。古川の魚が満潮時に上がって干潮時には戻れなくなっているため、処理場のところで何とかならないかと思っている。</p> <p>古川や旧真沼津川の件ですが、古川については北海道が管理している河川で、旧真沼津川は町が管理している河川になります。いずれの河川についても、土砂や雑草除去などは定期的を実施しています。</p> <p>水位が上がる件については、古川は全体的に平地で市街地から河口に向かって流れています。低地で勾配が緩やかですから、潮の満ち引きに左右されたり、古川の河口が静内川の河口と合流する形なので、静内川の水位や海の潮位が上がった時に古川の流れが堰き止められることになってしまいます。このことから、道では河口側に設置した排水機場で強制的に河川の水を排水するようにはしております、冠水被害が出ないようにしています。</p> <p>平成30年の台風24号では、時間雨量が19.5ミリのものすごい雨が降りました。平成28年8月の台風9号では記録的な数値で時間雨量が53.5ミリ、平成26年8月では時間雨量31.5ミリでゲリラ豪雨と言われる雨が降っています。こういった雨のなると古川の排水機場の能力を超える水が古川に流れ込んできます。排水機場には3台の機械がありますが、フル稼働して毎秒7トン程度は排出できますが、通常の降雨など流れが悪い時には排水できますが、時間雨量で30ミリや50ミリの雨が降ると排水機場の能力を超えて静宝通りが冠水したりしています。原因は古川の水位が下がらないため、雨水や道路側溝の排水が古川に流れますが、古川の水位が上がることによって流れなくなって冠水被害が出てきます。そういうところを少しでも改善するため、先ほど言ったとおり、河川の流下能力を向上や維持をするための掘削や雑草除去を古川も旧真沼津川も定期的を実施しています。そのほか、古川に排水機場が運転する水位をある程度決めていましたが、近年の異常気象による排水対策として規定より少し早めに余裕を持って動かすようにしています。いろいろな形で対応していますが、ゲリラ雨には対応できていないのが現状です。そういった現状も北海道にお伝えしてポンプ能力などの要望を上げていますが、ポンプを改修するとなるとかなりの経費が掛かるため予算のこともあり難しいようですが、引き続きポンプ能力や古川の流下能力を改善する要望を進めて参りますのでご理解願います。</p>
自治会員 A	<p>静内産業さんのお店の付近は土管やコンクリートを作る仕事場だった。だから非常に低くて、水が出ると上がってきてしまうのが現状です。4.5年前にもあふれそうになった時にも土嚢を積んでくれました。終わった後撤去したので、海岸町の橋のところまでずっと土嚢を積まなくてもいい状態にしてほしい。</p>
水谷産業建設部長	<p>排水が追い付かない場合は、河川管理者である室蘭建設管理部で土嚢を置いたり、応急的に砂利で土手を作るなどの対応をしています。先日も土現さんに確認しましたが、そういった対応は引き続き実施していくというお話しは聞いています。土嚢を置いたままにできないかということですが、河川と道路の間</p>

自治会員 A	<p>が狭いため町道に置くことになり道路を塞ぐことになるので、水位が落ち着いた際には撤去させていただいて、そういった事態の際にはまた置くことで考えていますのでご理解願います。</p>
水谷産業建設部長	<p>山手町で川幅を拡げる工事を実施している。1年に何メートルしか進まないのが現状です。墓地まで広げると聞いているが何十年もかかると思う。昨年も山手小学校のT字路のところの土砂がそのままになっている。水があふれないように土砂上げや草刈りを実施してほしい。あふれるとそこの川に入ってしまう。それと国道の元のミヤウチのところは、橋の下に水道管のような2本のパイプがある。それに木が引っかからないように土砂を取り除いてほしい。あふれたら御幸町に水が入り、古川に入って本町にきてしまう。仲川病院のところも非常に低いため水びたしになる。役場の裏から仲川さんまでの道路も一段と低い。昔は田んぼだった。</p>
自治会員 A	<p>真沼津川の改修はなかなか進んでいないのが現状です。計画では、進捗を高めるために護岸工を完成させながら進めていたところを護岸の改修を先送りして掘削を進めて川幅を改修して進捗度を上げています。なかなか進まないのは、真沼津川を横断している町道の橋梁の拡幅や延長を拡げて架け替えなければならぬため、事業費がかかり進捗に影響しています。現在の予定では、柏台まで令和9年度を目標に事業を進めています。</p> <p>去年は大雨の際に何度も真沼津川に警報が出ましたが、改修事業に合わせて去年から土砂除去も同時に行っています。既存の河川断面も流下能力を確保してあふれることがないように進めていただいております。</p> <p>先ほど真沼津川が古川に入るとおっしゃっていましたが、昔はそのような状況でしたが、静内川の河川改修する際に静内川流系の改修計画で古川と真沼津川の改修を行っていますが、真沼津川については、単独河川として古川に流入させないでそのまま海に流す河川になっています。町としても真沼津川の改修の進捗を上げる要望もしておりますし、流下能力を確保するための河川の土砂や草の除去などについても去年から改めて強く要望しておりますし、新年度についても改修事業と合わせて土砂除去する話しを聞いていますのでご理解いただきたいと思っております。</p>
柴田総務部長	<p>④ 駅後の利用について</p> <p>駅の利用については、町の外側で大きな店ができて、御幸通りも個人的なお店も辞めてしまう状況で、昔のような活気がなくなってしまっている。町の中でも人が集まるようなことができないものかと思っている。駅の辺りも新冠町の道の駅のようなものができたらいいのではないかと思っている。新聞では高校生の方からアイデア出してもらっているようだが、もう少し充実することできないか。今は町の中が殺風景になってしまっているの、何かいい方法がないかと思っている。</p>

	<p>駅の利用と町中の寂れた状況についてお話しがありましたけれども、冒頭に空き店舗のお話もありましたが、町としましては店舗として使える物件については、できれば店舗を手放したい方と新たに事業を始めたい方を何とか結びつけてお店として復活するような流れを作りたいと思っております。数年かけて商工会と後押しする事業を進めておりまして、少しずつですが空き店舗でお店を開始したところも少しずつ見えてきています。まだたくさんの空き店舗もありますので、今後さらにそういう流れを作って、少しでも町に賑わいを戻すような取り組みをしていきたいと思っております。</p> <p>その中で、この観光情報センターぽっぽは町の公共施設ですが、おそば屋さんから駅舎の部分はJR北海道さんの所有で区分所有しています。現状としましては、JR北海道さんの所有部分を町で所有する準備をしております。手続きを進めていますが、それが完了した状況で内部を整備したいと考えています。大きくは2つありますが、1つは純粋にバスのターミナル、待合場所としての機能を充実させたいと思っております。もう少し広い待合スペースにイスやテーブルを充実させて皆さんが快適にバスを待ついただけるような状況を作って参りたいと思っております。2つ目はここに売店がありますが、町の特産品を売る場所として売場を拡げて販売場所の魅力の向上を図りたいと思っております。理想としては、この町に訪れる方が誰もが立ち寄ってお土産を買っていくような場所にしていきたいと思っておりますが、そういうイメージを持ってこれから整備にかかるべく設計の作業に入っております。新年度に入りましたら工事にかかりたいと考えております。駅としては2つのポイントで整備していきたいと考えています。</p>
<p>意見交換 自治会員A ・静内川の柳の木 について</p> <p>水谷産業建設部長</p> <p>自治会員A</p> <p>水谷産業建設部長</p>	<p>18:49～</p> <p>昨年大雨で水害になった静内川について、柳の木を処理して川の流れを良くしてほしいと皆さんが言っています。</p> <p>昨年の夏場の雨で避難指示を出しました。原因の1つとして中洲の土砂や木が繁茂していることがあり、土砂除去について昨年町からも強く要望しています。町長も直接北海道に伺って、ドローンで空撮した災害時の状況や何十年前の中洲の土砂がない映像と比較しながら中洲の状態を理解していただくようなものを見せて要望しています。要望した結果、河川管理者である室蘭建設管理部で令和5年度からまず中洲の木の伐採を始めることやその後土砂除去をすることで進めていきたいと聞いています。</p> <p>パークゴルフ場にも水が上がってしまって、しばらくの間はできないと言っている。</p> <p>昨年はパークゴルフ場も被災しましたので災害復旧事業を活用して復旧する予定で、災害査定を受けて認められて復旧することになっています。3月頃には工事を発注して、1日でも早く利用できるよう復旧を目指していきたいと考えて</p>

	<p>います。工事中は使用制限をすることとなりますが、一部利用可能なコースがあればそれらを利用できるよう検討していますのでご理解願います。</p>
閉会挨拶	<p>18:53～ 大野町長</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>空き店舗や古川などのお話し、静内川の樫の木のお話しは全て私も心配しているところです。特に古川の件については、計測機が付いていてリアルタイムでどれくらい上がったかきちんと監視されています。システムでこの値にきたらポンプを回すということが決まっています。しかし、雨が多くなると間に合わないことが今後も起きると思いますが、従前よりはかなり良くなった状況で管理されています。真沼津川も川の中の土砂の除去も全部やるような動きになっておりますので、そうなれば町の中の川の水が海にスムーズに流れるようになります。ただし、静内産業さんの裏が一番低いため、水位が上がらないように常時監視機能が働いています。上がりそうになったらすぐさま砂利や土嚢を積む体制を作っていますので、ある程度の雨であれば大丈夫だと思います。以前より安心できるような状態になってきておりますのでご理解していただきたいと思います。</p> <p>静内川の柳の木については、間違いなく木は無くなると思います。とりあえず木だけは切りましょうということで進んでいますけれども、その後の土砂については頭が痛いです。砂利として利用できるのであれば砂利業者に使ってもらいたいです。土の量が多ければ取った土をどこに持っていくかという悩みも出てきます。私も子どもの頃は投げ釣りができましたが、今は柳の木にぶつかって釣りができない状態になっています。一刻も早くやっていただけるようお願いしてきました。皆さんから見ると遅いと言われるかもしれませんが、着実に進めていくと思いますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>今日は集まっていただきましてありがとうございました。帰りは滑りますので気を付けてお帰りください。ありがとうございました。</p>
閉会	<p>18:56 終了</p>

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月6日（月）18:00 ～ 19:00
会 場	延出基幹集落センター
自治会名	延出連絡協議会 （豊岡連合自治会、下富澤連合自治会、上富澤連合自治会、蓬栄福畑連合自治会）
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 11人</p> <p>【自治会側】 8人（男性5人、女性3人）のほか、町議会議員6人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～
自治会長挨拶	18:01～ お集まりいただきましてありがとうございます。 町長さんを初め、職員の皆さんには大変お疲れのところありがとうございます。 今日はよろしく願いいたします。
町長挨拶	18:01～ 大野町長 皆さんお晩でございます。 本当に寒い日が続いております。雪も結構降っております。去年と比べれば少し寒いかと思えますけれども、2月に入りまして、あと1か月もすればだんだん日差しが暖かくなってくると感じております。 コロナ禍ということで、いろいろな場面で規制が掛かっておりますけれども、春から連休明けには2類から5類になり、その詳細についてはまだはっきりしておりませんが、決まり次第皆さまにはしっかりとご連絡したいと思っております。 今日は、私どもから三石病院の診療体制について申し上げたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
職員紹介	18:02～
資料説明	18:04～ 渡辺町立病院事務長 ・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について
質疑 自治会員A	18:07～ 肺 炎球菌ワクチン接種が出来なくなると言いました70歳以上の人が5年に1回やるんだけど。
渡辺町立病院事務長	申し訳ございません。私の説明が足りなかったと思います。

自治会員 B	<p>小児科に関わる部分の肺炎球菌のワクチン接種ができなくなるということです。三浦先生が小児科医でしたのでできたのですが、4月からは小児科医がいませんので、小児に関わるご対応が難しくなるということでございます。</p> <p>今の小児科の話ですが、こちらの地区にも小学生や保育所の子どもたちなど小さな子も沢山いますが、三石の病院には年間でも月でもいいのでどのぐらいの人数を診療したのかをお知らせいただきたい。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>昨年、令和3年度の実績でございますが、小児科に受診された患者数は129名です。</p>
自治会員 B	<p>子どもたちにとって今後、病気になった場合に病院が遠くなるということもあるので、三石地区は一次産業が主体のまちで、親がそれぞれ仕事を持ちながら子どもたちを病院に連れていくとなればかなり負担が大きくなると思う。</p> <p>それで、129名の子どものうち、もう少し具体的に小学生や中学生、乳児などの分類ができていたのでしたらお願いします。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>中学生までが小児科で対応しています。新たな先生に確認しましたが、現在は年齢にかかわらず、小児の対応は難しいという回答でした。ただし、緊急の場合で症状によっては診ることはできるとのことです。また、今後、全く小児科の患者を診られないということではなく、少し勉強させてくださいとのことですので、ちょっと時間が必要になるかもしれませんが、先生の答えによっては、今後の小児の対応で専門的なことは難しいと思いますが、小児の対応もできるようになるかもしれないというところです。</p>
自治会員 A	<p>その先生はいくつですか。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>年齢は53歳です。</p>
意見交換	<p>18:13～</p>
自治会員 A ・まちづくり懇 懇談会について	<p>今日のこの懇談会は広報に記載されていない。なぜ広報に載せていないのか。広報に出しておけば、他の地域からも聞きに来るかもしれない。言いたい意見を言いに来るかもしれない。何も努力していない。そして、町民の意見を聞きたいと言ってもどうにもならないのではないのか。どういう考えでいるのか。</p>
米田地域振興部長	<p>広報には載せておりません。今回三石地区に関しましては西端地区が開催できませんが、他の地区はこの後全ての連合自治会で開催することになっております。そこで、各地区からのご意見をいただこうと考えております。</p>
自治会員 A	<p>今日ここに来なさいと言っても来られない人もいる。近くの会場に行きたい人もいるかもしれない。これでは来るなど言っているようだ。回覧を回しても</p>

<p>自治会員C</p> <p>柴田総務部長</p>	<p>見ない人は結構いる。恐らく見ていない人は結構いると思う。その辺りはどう考えているか。これで良いと思っているのか。</p> <p>マスクして話されると耳が悪くて聞こえない。話す時だけでもマスクを外してもらいたい。</p> <p>自治会単位で開催するまちづくり懇談会は、地域の中で開催希望を取って開催しております。確かに全体に周知していないのが現状ですので、そこは今後に向けて改善したいと思っています。自分の住んでいる自治会で開催されなかったという方も結構いらっしゃるため、そこに所属自治会に関係なく、町にご意見等のある方がお集まりいただけるまちづくり懇談会というのは、2月27日に開催を予定してしまして、それは1月25日の広報で全戸にお知らせしているところがございます。ご指摘は各個別自治会の開催のことを十分知らせていないことというのは確かでございますので、そこは今後に向けて改善していきたいと思っております。</p>
<p>自治会員D</p> <p>・一人暮らしの高齢者等について</p> <p>大野町長</p>	<p>皆さんからあまり何も無いようなので、ちょっとお聞きします。</p> <p>私は、広報の町長の日記をよく読ませてもらっています。それで、交通安全の指導員などをやらせてもらっていますが、最近書かれた中で子どもたちを大事にしようということが書かれていました。本当に大切なことだと思います。しかし、延出地区は、残念ながら、子どもの声を聞くとすると、保育所へ行くか、学校へ行くか、そのぐらいしか人はいません。逆にこれにプラスされるのがお年寄りだと思います。いきいきサロンなどでも、1人暮らしの人をお呼びして、1回なり2回なり話しをする場所を作ってあげていますが、最近は雪が降っています。回ってみると、やっぱりそういうところは、玄関先が山になって、家の前は雪が溜まっていて、その上をズボズボと歩いている。私たちは、先代たちが起こした悲惨な戦争に出て行った親たちが帰ってきて生まれた世代で、一番人数が多いです。そういう人が延出にもたくさんいます。これから先のことを考えると、年寄りの場合は、町のコミュニティバスなどで買物などにいろいろ行きます。ただ、リュックサックを一つ背負って、足腰弱くなってきて、買物するというのも大変だと思います。</p> <p>また、最近空き家がすごく見られます。町長さんたちはこれからどうやっていったら良いのかというところを聞かせてください。自分も勉強不足で、そういうところに気が付けば、除雪を手伝ったりしていますが、自分たちももう70歳を過ぎていますから、足腰も弱っているし全部をやるわけでもない。隣近所の人がやってくれている現状もありますが、全然手つかずの人もいます。だから、そういうところをどうしたらいいか。どのように考えているか聞かせてください。</p> <p>ありがとうございます。うちの町には1,800人ぐらいの単身世帯があります。今、おっしゃったように昔からお住まいになっている方が高齢になっていくと</p>

<p>自治会員C</p> <p>・延出基幹集落センターの備品及びパークゴルフ場の無無料化について</p> <p>米田地域振興部長</p>	<p>外へ出るのも大変な状態になってきます。その部分を行政で何とかするというのは非常に難しいことだと思っています。まずは地域の皆さんが声をかけたりしながらどうしているのと問いかけすることや、町でやっているのは、例えば郵便局など個別にご自宅に行く仕事をしている皆さんと連携協定を結び、何か支障はないか、何か変わったことがないかという時には、町に連絡をいただける仕組みを作っており、そういう団体は、確か27か28ぐらいと連携協定をしながら、言い方を変えれば、町としてはそういうところをお願いしながらアンテナを張っているということが一つあります。</p> <p>それと、空き家のお話しもありましたけども、空き家については、山の中もそうですが、街にも空き家がすごく多くなっています。全国的にもこの問題が重要視されています。そういう中で、国では固定資産税のかけ方、そういうものを今検討されているように聞いておりますので、大きな意味でそういう仕組みを変えるということも必要ですが、内部でも必要なのは、そこに住んでいる方々が互いに支え合うという構図を作っていくことが必要だろうと、これが重要なのではないかと考えています。</p> <p>この町の取り組みの他に、社会福祉協議会などにもしっかりやっていただいておりますけども、皆さんご存じのとおりどの職種も人が足りない。人手不足だということになっています。そういう中において、今は外国から人が入って来ているところもありますけども、うちの町にも200人以上の外国の方が入って来ております。その方々が、いろんな分野で働いておりますが、特に軽種馬産業のところが多いのですが、そういう方々に対する町としての対応についても、今検討している最中でありまして、そういう方にもこの町で住んでいただいて、働いていただける環境整備を努めていきたいと思っています。雪かき、本当に大変だと思いますが、あと1か月もすれば何とかありますので、しばらく皆さんで支え合いながら乗り越えていただきたいと思います。</p> <p>要望ですが、基幹集落センターの和室の座布団の事です。</p> <p>先日、静内温泉に行くと、高さがちょうど良い小さめの椅子があった。下に座るのが大変なものですから、予算のことは分かりませんが20個ぐらいその椅子を要望したい。</p> <p>それともう1つ、三石にも静内にもパークゴルフ場があります。元々無料のときは、小さな子どもから若い人たちも遊んでいました。今は、定年になって遊びに行くところがない人が年会費を払って遊んでいます。その他に遊んでいる人がいなくなったと思います。無料にならないのでしょうか。浦河町は、町内の人は無料です。様似町も無料です。様似町の人に話を聞くと、1人で草刈りから掃除まで全部賄っているそうです。それで無料になっています。三石と静内もどうかしたら無料にならないのでしょうか。そうすると、もう少しパークゴルフ場に遊びに来る人が増えると思いますけど、いかがでしょうか。</p> <p>最初にご要望がありました椅子の件です。後ほどお話しさせていただきます。具体的にどのような物かを教えてください。予算のことは別の話として、ま</p>
--	---

<p>片山教育部長</p> <p>自治会員 A ・病院関係について</p>	<p>ず、どのような物かをお知らせください。</p> <p>パークゴルフ場のお話しですが、現在町ではパークゴルフ場に限らず、いろいろな施設を使っていたく時は、町全体の中でかかる経費、例えばそこには管理人の方にかかる経費などお金のかかる話しになっておりますが、それらの経費を出した中で、原価計算をして使用料を決めていくということが町の一つのルールとなっております。そしてこれを何年かに一度、見直すことになっていますが、我々もなるべく経費のかからない方法で施設を維持していくという基本的な考えがあり、やはりそれなりのお金がかかっているという現状では、無料ということについて、具体的な検討をしているわけではありませんが、今後、町全体の中でいろいろな施設のあり方などを検討されていくこととなりますので、今回のご要望は貴重なご意見ということで伺っておきたいと思えます。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>病院の再編計画で、医師とかいろいろなスタッフの軽減にもつながるということが大きく出ている。前にも質問したが、これはおかしいのではないかと。医師不足、看護師不足と何十年前から言われているのに、それは我々が責任持たなきゃならないものなのか。国の責任ではないか。それに関して国に対して要望をしているようでもない。あそこに書くということは我々に責任を負いなさいということだ。そのように受け取っているがどう思いますか。</p> <p>病院の医師、それから医療スタッフの関係ですが、おっしゃられた町民の皆様責任ということで我々は考えておりません。高齢化や人口減少の影響で、今はお医者さんや医療スタッフがなかなか見つからない状況です。今年4月から着任する医師につきましては、業者を使って何年かぶりに見つけられた状態でございます。医師の働き方改革ということもありまして、大学病院等で医師をなかなか紹介や放出していただけない状況になっています。これにつきましても、我々はあらゆる手段を使って医師や医療スタッフを確保していきたいと思っておりますし、町で委託している会社にいろいろな手を使って、うちの町が必要としているお医者さんや医療スタッフについて紹介いただいている状況です。</p>
<p>自治会員 A</p> <p>大野町長</p>	<p>また、静内病院の院長等が大学病院や、町長が医療関係の会議の役員をやっていますので、そういうところをお願いをしているといった状況です。町としては、医師がいなければ病院を維持していくことは出来ませんので、今後もあらゆる手段を使ってやっていきたいと考えています。それは町民の責任だとは私どもは思っておりませんので、そこは理解していただきたいと思えます。</p> <p>国に対してはどういう働きかけをしているのか。これはもう、はっきり国の責任だと思っている。皆さんそう思いませんか。何十年も前から言われていることを国は何もやらないで、国は自治体に医師を見つけなさいと言うだろうから。一生懸命やっているのは認める。認めているが、国に対して団結してやら</p>

<p>自治会員A</p> <p>大野町長</p>	<p>なかったらだめではないのか。今まで何もやっているようにない、ただ形だけしかやってない。それではいつまでたっても同じだし。どう思いますか。</p> <p>国に対して何もやっていないっていうことは、私どもの動きを皆さんにお知らせするのがうまくいっていないのかと思いますが、私も何度か興部町の町長と二人で厚生労働省にお願いをしてきたこともあります。何よりも町単独でというより、北海道町村会とって、町と村で144ありますけれども、144の中で決議して、それを例えば医療関係のところはこの部会、道関係のところはこの部会と、みんなで手分けして要請活動を行っております。更には、全国の町村会の会長さん、その方は全国の代表者として国に要請をしてくれています。その答えとして何も変わっていないではないか、何か変わったのかと言われますと、そこは見方がいろいろあると思いますが、我々としてもやれることはきちんとやっておりますし、まだまだ成果として現れていないかもしれませんが、これからもしっかりやっていきたいと思っております。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>まあ、1町村だけでやってもだめなのは分かっているし、町村会でやっているのも分かっています。ほかに何かやりようがないのですか。</p> <p>他にどんなやり方がありますでしょうか。恐らく、国会議員の先生の皆さんも、例えばいろいろ党や会派がありますが、皆さん気持ちは一緒だと思います。自民党にしろ、立憲民主党にしろ、共産党さんも公明党さんも、みんな一緒だと思います。そこが、何となくどんな感じで、国としてその向かっていくのかという気持ちが一緒になれば、進んでいくのかもしれませんが、そういうような形にはなっていないというのは、歯痒いところもありますけども、我々の立場としては、置かれた立場の中で、関係する皆さんと力を合わせながら、要請活動や意見交換をしていくということに尽きると思います。その中でも、私どもの町で単独でできることを一生懸命やって、今回のようにそういう心かげがある先生とうまく話しができ上がったものですから、来ていただくということですので、粘り強く活動してまいりたいと思っております。</p>
<p>自治会員A ・駅舎について</p> <p>柴田部長</p>	<p>やっぱり思っていたようなご返答だったんです。</p> <p>これはお願いです。私は九十何歳の母親をかかえています。私達も75歳を過ぎてきたら歩けるうちにどこかへ遊びに行きたいと思っております。でも、やっぱり現状だと、親の感じを見ると、その歳になっても遊べない状態、預けられない状態で、母親の年金だけで入れる施設と言ったら無いです。きちんと筋が通らないと、1級・2級、3段階にならないとホームにも入れません。預けられるところがあれば、町の福祉の施設でも良いですから、少しでも我々が何とかやっていける、この町に子どもたちを、若い人たちを呼び入れる対策というものをできるだけ努力して、何とか過疎のようにならないで済む努力をしていただきたい。</p>

	<p>J Rが廃線になりました。あれから何年か経ってバスが走っている。駅はどの程度使っているのか。</p>
自治会員 A	
柴田部長	<p>旧 J R時代の駅のお話しだと思いますが、旧日高三石駅については活用していません。バス停としては稼働しますけども、活用はしていません。今後も恐らく、活用方法は難しいと思っております、いずれかの段階で壊すべきものは壊さなければならないと考えております。</p>
自治会員 A	
柴田部長	<p>駅舎は町の物なのか。</p> <p>三石の駅は建物は町の所有です。</p> <p>あとの駅は使っていないのか。静内とかは。</p>
自治会員 A	<p>静内駅は現在ターミナルとして使っています。そのほか東静内や春立などは、トイレを活用しているところがありますが、駅舎としては活用していない状況です。</p>
柴田部長	<p>そこでは、バスは停まらないということか。こっちはほとんど使われていないのか。本桐も全然使っていないのか。（参加者から本桐は、バスが道道から駅まで入らず、駅付近の道道沿いにバス停を設置してバスの乗降をしていると説明）</p>
自治会員 A	<p>蓬栄でも停まるのか。静内駅は使っているのか。</p>
柴田部長	<p>静内駅はターミナルとして活用しています。その他の小さなバスの待合所については、スクールバスで使っていて町が設置しているものはありますが、旧 J Rの駅舎ということであればどこも活用はしていません。</p>
自治会員 A	<p>町の所有の建物は三石だけなのか。静内駅も町の所有なのか。（参加者から三石は町の所有と説明）</p>
柴田部長	
自治会員 A	<p>静内駅は合築施設でありまして、分かりやすく言うと町が半分、残りの半分が J R北海道のものだったのですが、鉄道が無くなりましたので、 J R北海道から J Rが持っていた部分を町がいただく方向で議論を進めているところです。</p>
柴田部長	<p>わかりました。土地ごとですか。土地は J Rか。</p>
自治会員 A	<p>そうです。そこも含めて取得する方法で協議をしているところです。</p>
柴田部長	<p>大分お金がかかるのか。</p>

<p>自治会員C</p> <p>片山教育部長</p>	<p>お金のかからない方法で協議をしております、町からお金を出して買うという形でなくて、無償でいただく方法で協議しているところです。</p>
	<p>土地の値段は高いのか。</p> <p>あの辺りは評価額が高いと思います。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>静内と三石のパークゴルフ場は大分赤字なのですか。</p> <p>赤字というのは、経費のことを言うと、委託して、人件費もそれなりにかかって、整備費もかかっているということはあるんですが、ただ、コスト計算したからといってかかる経費の全てをいただいているわけではなくて、一部を抑えた中で行われますので、収支ということでは赤字という考えになります。</p>
<p>片山教育部長</p>	<p>様似町の場合は、1人で全部をやっています。それは、町から出されている給料で草刈りから掃除から全部やっているとやっている人に聞いてきた。ただ、赤字だとしたら、草刈りの人と、掃除の人だけの給料でやってもらうとなったら、私たちが無料でパークゴルフをさせてもらって、赤字の分で給料を払うような方法をとると、遊ぶ人が無料になる感じですが、そういう計算にはならないですか。赤字ってどのぐらいだか知らないけれども。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>金額的なことの細かい資料は手元に無いのですが、おっしゃる意味は、奉仕活動で施設を維持していけないかということだと思います。</p>
<p>片山教育部長</p>	<p>使われている人は、日当か月給かよくわかりませんが給料をもらって、草刈りから何から全部1人でやっていますと言っていました。カードなどは、勝手に持って行って下さいという感じでした。他の無料の町のパークゴルフ場に研究に行つて欲しいです。厚賀のパークゴルフ場も無料です。様似町も無料です。そういうところを研究して、なるべく無料になるともう少し遊ぶ人が増えると思います。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>手元に分かる物がありましたので数字的なことを先にお伝えします。蓬萊山公園については、かかる運営経費は年間730万円弱かかっています。収入という形でご利用いただいている方々からの金額が年間で70万円弱。相当な開きがありまして、650万円ぐらいの経費を町が持って、その上で利用していただいているということです。ここでその経費をどうこうと言いつらいところではあります。ほかの施設などの研究はさせていただきますが、現状で町の運営の実態はこういう状況だということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>経費が700万円もかかっている、収入が70万だとしたらすごい赤字です。それ</p>

片山教育部長	<p>だったら、例えば2人だけの給料と、機械が壊れた場合や機械の購入にお金がかかっているのか、人件費にかかっているのか分かりませんが、人件費だとしたら1人か2人、様似町で27ホールです。三石は18ホールです。1人で草を刈っていたら1人か2人、様似町で27ホールです。三石は18ホールです。1人で草を刈っていたら1人か2人、様似町で27ホールです。700万円も出して収入が70万円だとしたら、1人の給料を払って無料にしてもらおう方が、町から出ていくお金が少ないように思う。</p>
自治会員 A ・町議会について	<p>今おっしゃったのは、経費をできるだけ抑えることができれば、町の持ち出しも少なくなるだろうということだと思います。先ほども申し上げましたが、経費の抑制は当然で、町のお金がいくらでもあるわけではございませんので、こういった形にしたら少ない経費で、実際には委託という形をとらせていただいています。そういった経費、その中には人件費以外に、機械の使用料などそういったものも当然含まれます。なるべく経費を抑えることは、これからも続けていきたいとは思っていますが、使用料分については、町の中には他にもたくさんの施設があって、それらのバランスも考えていかななくてはならない部分もありますから、そこは本当に研究させてください。</p>
大野町長	<p>議会のことについて聞きたい。一般質問ではどんな質問しているのかは分からないが、どんな考え方で質問されているか。町長は議員に対して、逆に質問はするのか。</p>
自治会員 A	<p>議員さんがいるので、この会が終わったらゆっくり聞いてみてください。私の立場で議員さんに質問ができるかという、難しい言葉で言うと反問権という言葉があります。だいたい議会では聞かれたことにお答えするということが議会の基本的な形になっています。一般質問につきましては、議会だよりが配られておりますので、そういうもので十分分かるのではないかなと思いますが、細かい話しは、この会が終わったら議員の皆さんに聞いてみるのがよろしいかと思いますが。</p>
大野町長	<p>議員に少し質問したほうが良いと思う。一般質問なら何でも言われると思うけど、そんなに言ってこないのか。</p>
自治会員 A	<p>ぜひ、議会中継がインターネットでも見られるようになっておりますので見ていただきたいと思いますが、いろいろ質問をされております。幅広く毎回10人以上の方が質問なさっておりますので、いろいろ質問を受けております。</p>
大野町長	<p>議会は、どのぐらいの頻度であるのか。一般質問ができる議会とは、年間どのぐらいあるのか。</p>
自治会員 A	<p>定例会というのは、3月と6月と9月と12月の4回。その他にも、この議会ごとに事前に説明するのが、それぞれ1回ずつあります。あるいは、臨時議会とい</p>

<p>大野町長</p> <p>自治会員A</p> <p>大野町長</p>	<p>うのも行いますから、結構な回数をやっています。そのほかに、各議員の皆さんは委員会に所属していますので、その委員会で審議するというのは、例えば月に1回や2回、集中的にやったり、委員会によって違いますが、活動はそのようになっています。</p> <p>今日は議員の人たちがいるから提案したい。今日の会議は町が主催なのか。</p> <p>この会は、自治会の皆さんがこの日ということで、私どもがここに来ているものですから、町主催というよりは、各自治会の皆さんがお話しをしたいから来てほしいというスタイルで開催しています。</p> <p>町でやっているのだから、町長だけじゃなくて、議員の皆さんもそこにいた方がいいのではないかと思った。そうしたら、いろいろ人から議員の皆さんに質問があるかもしれない。</p> <p>それは、私が答えるものではないと思います。議会の皆さんも、議会の説明会だとかやられています。そういう場において、ぜひ出席されて意見交換された方が良いと思います。2月にも行われると議会だよりに載っておりましたので、ぜひ足を運んで、議員の皆さんと意見交換をしていただきたいと思います。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>19:00～ 大野町長</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>大体1時間ということでございますけれども、こういう機会が多々あれば良いと思ひまして、先ほどお話しがありましたとおり、議会との関係や今回の私どもからの説明以外にも、いろいろ分からないことがあればお聞きいただければお話ししたいと思っております。外は凍れていると思ひますので、足元に気をつけてお帰りください。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p>
<p>閉会</p>	<p>19:00 終了</p>

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月7日（火）18:00～19:13
会 場	梟舞生活館
自治会名	梟舞連合自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、</p> <p>佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 11人</p> <p>【自治会側】</p> <p>19人（男性12人、女性7人）のほか、町議会議員4人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～
自治会長挨拶	<p>18:01～</p> <p>お晩でございます。</p> <p>生活館が改修されてから、お目にかかるのが初めての方もおります。改修されてすぐにコロナで、生活館の使用禁止という辛い目にあったのですが、お披露目も出来ないで今日に至りました。最終的には、若干ですけれども改修されて、今日もそんなに暑くも寒くもないですが、頭には良いですよということですから、今までの寒さを考えたら、改修されて本当に良かったと思います。</p> <p>これからも、この地域に根差した生活館の運営のためにも、積極的に住民の方に利用していただきたいと思います。改善センターの設立に当たりまして、梟舞自治会の指標が入口にあります。皆さんにもう一度ご披露してスタートをしたいと思っております。聞いていただきたいと思っております。</p> <p>「幸福は人生の宝、生き抜く力を養い、合い助け合い、自治の心で、希望に満ちた、生きがいのある、豊かな梟舞のまちづくりに努めよう」という文言でございます。これは、ここの梟舞小学校の校長でありました三浦喜平さんが書を書き込んでおります。梟舞自治会の指標ということで、このように我々も指標の下に一生懸命、地域住民の自治会の一員となって進んでおりますけれども、今申し上げたように、コロナ禍ですから、まだまだ集合するのは早いのではないかとということで、事務局としては、もう少し後のほうがいいのではないかと思いつつ総会に臨んだところ、コロナばかり考えているよりも、行動して今やらなければならないというその悩みごと、私の悩みを聞いてほしいという強い言葉がございましたし、その気持ちに動かされて、それではもう我々もじっとしているより、悩んでいるのであれば、この言葉を皆さんに聞いていただいて、これからのまちづくりの一環の橋渡しとなれば幸いです。そういうことで、参加された会員の皆さん、それから今日この会場に出向いていただきました行政のそれぞれの方々については、それぞれの指導のもと、助言したいこと、提案事項も含めて、こうやれば、梟舞の住民の</p>

	<p>方はもっと良くなるのではないかなというような問題提起などをいただければ幸いです。</p> <p>我々はそれを糧にして、次のまちづくり、つまり鳧舞のまちづくりのためにも頑張りますし、あえて新ひだか町のために地域住民を挙げて協力できれば幸いですと思いますので、ひとつご指導、ご鞭撻をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
町長挨拶	<p>18:05～ 大野町長</p> <p>改めまして、お晩でございます。</p> <p>自治会長さんから話しありましたが、この建物に入ってきましたらすごく暖かいです。この広いところをストーブ2つで温めているのですから、かなり断熱材入っているのかと思いますけれども、新しい施設を初めて見させていただきました。先ほど裏と奥を見せていただいて、畳の部屋もある。ここで、前もお話ししたかもしれませんけれども、私の爺さんと叔父さんの葬儀や、古いところでやった記憶がございまして、そのときから見ていたと思っていますけれども、本当にこういうものができ上がって良かったと思っています。</p> <p>冒頭、会長からコロナのお話しがありましたけれども、全然入院もしていませんので、自宅で監禁状態になりまして、幸いなことに軽くすみましたが、特に最近、医療関係の中から結構出ています。クラスターになる率が高いものですから、やはりその閉鎖された空間の中では、感染がすごく高いことになっていますが、全体としてはかなり数字が落ちついてきています。2類から5類に変わるという新聞報道もありますけれども、その辺りどういう対応になるのか、マスクのつけ方一つにしても、どのようになるのかはこれからのお話しだと思いますので、また決まり次第、皆様には広報などを通じてお知らせしたいと思います。</p> <p>今日皆様方から懇談テーマをいただいておりますので、それも含めまして十分に議論をして、話しをお聞きしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。</p>
職員紹介	18:07～
資料説明	<p>18:09～ 渡辺町立病院事務長</p> <p>・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について</p>
質疑 自治会員A	<p>18:12～</p> <p>三石国民健康保険病院の診療体制の説明は分かりました。これからの今後の三石国保病院が診療所になるのではないかという話しをお聞きしておりましたので、その辺りを説明いただければと思います。</p>
藤沢保健福祉部長	<p>病院改革プランのお話しにつきましては、各連合自治会から懇談テーマとして要望がありましたが、以前にご説明させていただいた時に、病院改革プランについては別な日程で改めてご説明をさせていただくというお約束をさせていただいております。現在、広報にも入れさせていただきましたが、町民の意見等をまとめたものを皆さんに広報でお知らせしております。これらを受けて最終的な改革プランの見直しをさせていただこうと思っています。今日のまちづくり懇談会でお話しをしてしまうと、他の大事な懇談が出来ないということ</p>

自治会員 B	<p>もあって、大変申し訳ありませんが病院改革プランにつきましては、再度説明会を開催し、ご意見ご要望等について対応させていただきますので、本日のまち懇ではそれ以外の部分でお話しをしていただければと思いますのでご理解いただきたいと思います。大変申し訳ございません。</p> <p>診療体制が変わり小児科が無くなることで、町民の足をどのように考えているのかお聞きしたい。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>小児科については、現在、土田先生と協議を行っていく中では、当面は対応が難しいというところでもございました。ゆくゆくは少し勉強させていただいて、小児にも対応していきたいという話をしています。</p> <p>足についてですが、病院のバスで通われているということになりますので、現状ではそれぞれのバスを利用させていただき、受診をしていただくということになるかと思えます。小児については、全く先生がいないというわけではなく、電話をいただく手間はありますが、まず先生に相談をしていただいて、可能であれば、先生も診ることができるというところもありますので、申し訳ありませんがお手間をかけますけれども、それらの対応でお願いをしたいと考えております。</p>
自治会員 B	<p>総合診療という考えは無いのですか。静内に小児科医がいる。その先生が週1回来ていただくとかそういう対応は無いのですか。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>町立静内病院は、週3日、月、水、金、北大から出張の先生に来ていただいて診察をしてもらっております。そのうち1日でも診療できないかということで相談をしましたが、難しいという返答でもございました。申し訳ございません。</p>
自治会員 C	<p>診療体制が確立されているようでいないということで、我々の心配ごとがだんだん増えてしまう。あと何年か分からないが、徳洲会が新しいビジョンでやりますと出ています。そうなると、日高全体、新ひだか町全体でもいいから、民間との繋がりということでどうなのかと思う。小児科が例えば不足するときは、連携を密にして体制を十分にするとか、そういう連携プレーした結果、こういう体制にするというような、何かもう少し具体的に繋がるような、具体策を持った返答を我々は望んでいます。今までの小児科は無くなりました、すみません。何でもすみませんで済むのだったら、我々も集まって言いたくないことも言わなくていい。我々は、だんだん過疎化になって行くし、そういうことは分かるけれども、最小限こういうふうにして他との連携を取りながら、国保病院を維持するとか、総体的にもっと無くなればどうなのかという問題になりうる。あくまでも今の体制はこうだけでも、こういうようなことで究極を乗り切っていきたいという回答を望むし、答弁をしていただきたいということですので。現状では進まないし、乗り切れないからすみませんでは済まないということだけ認識していただきたいと思います。</p>

渡辺町立病院事務長	<p>医師の確保というのは非常に難しいと思っています。三浦先生が内科・小児科でしたので、小児科医が見つければよかったとは思いますが、日高管内を考えても小児科医は少ない状況です。町立静内病院は、月・水・金を出張医による診察ですが、診察を行っています。もし、患者さんがよろしければ、静内病院と三石国保病院のカルテも共有できます。小児の病気も突発的なものですので、カルテが繋がったというところでは難しいかもしれませんが、過去の治療内容等も分かりますので、何とかスムーズに静内病院で診察をしていきたいと考えております。</p> <p>今回、4月1日から着任されます土田和幸医師は、先ほどもご説明いたしました。この総合診療科は、簡単に言うと何でも診ますよという科です。本当にこの地域にとっては、打って付けの先生が来てくれたのかなと私は考えています。八木橋院長もいる中で外科というところもありますが、三石地区だけではなく、今後静内地区でもそういう先生を増やして、小さなお子さんからお年寄りまで幅広く診ていただけるような体制を今後作っていききたいと思っています。</p>
自治会員 A	<p>会長からもお話しがありましたが、2025年に徳洲会病院で素晴らしい建物が建設されると新聞折り込みが入っていました。新ひだか町では、町立病院が2か所ございますけれども、真剣に考えられて、かなりこちらに移行するのではないかと思います。私も5.6年すると80歳になりますが、団塊世代で、本当にもう病院に行くか行かないかという年齢になりますが、時間の関係もありますが、町長のお考えもお聞きしたいと思っています。</p>
大野町長	<p>徳洲会病院が新築されるという事は新聞折込に入っていますので、徳洲会病院から概略についてはお聞きしています。このような建物をこの時期までに建てる話しを聞いています。</p> <p>徳洲会病院は、診療科をどう用意できるかということと併せてやっております。徳洲会病院には医師の確保の問題もあるのですが、それはそれとして、徳洲会病院の医師の確保、何科を開設するのかというのは、並行して検討している最中ということとです。</p> <p>そういう中で一方では、日高管内における医療体制をどうしようという動きが別にあります。実際問題として浦河赤十字病院が、日高管内の中核医療機関として指定されております。あと2年ほど中核医療機関の期間があると思いますが、徳洲会の診療科ですとか、そういうものが出てきますと日高における中核をどうしようかという議論が北海道で地域別に行われるのだらうと思っています。そういう中において、うちの町に関しましては、そのような大規模な動きもありますけれども、必要最小限度の医療は、やはり町でしっかり持たなければならぬという認識はしておりますので、その中において、この町に合った医療体制を作っていききたい。それには民間の方々との連携も当然必要になるだらうと考えております。</p>

<p>懇談希望テーマ</p>	<p>18:27～</p> <p>①北海道の防災計画の見直しや日本海溝・千島海溝の地震想定などの報道があるが、新ひだか町ではどのような対応を考えているのか。</p> <p>②独居高齢者が増えており、災害時（津波）に対する避難時の不安が高い。過去に要援護者支援などあったと思うが、現在の自助・共助・公助の基本的な考え方は。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>今回は、大きく2点のご質問がありました。</p> <p>まず1点目に、北海道の防災計画の見直し、また、日本海溝・千島海溝の地震想定などの報道の中で、町ではどのような対応を考えているのかということでございます。今、自治会長さんからもお話しあったとおり、国あるいは北海道で、今回、日本海溝・千島海溝の震源とするマクニチュード9クラスの地震が起きたという想定のもとに、新たな津波浸水の区域が公表されました。これを受けまして、当町では昨年の7月に町の防災計画を修正しながら、ちょうど10年前の平成25に、全戸に配布をさせていただいた防災ハンドブックを10年ぶりに改定すべく現在作業を進めておりまして、3月25日の町広報と一緒に全世帯に新しいマップをお配りしたいと思っております。前回、平成25年2月の浸水区域と大きくは変わらないのですが、微調整が行われておりまして、改めて皆様にもっさらな目で見ていただきたいと思っております。津波ということで申しますと、鳧舞エリアで町が指定している津波の一時的に避難する場所は、鳧舞共同墓地と旧三石温泉の2か所でございます。</p> <p>もう一つは、国道から本桐の方に向かって入りますと、おおむね200メートル奥に行けば、浸水区域が回避できる状況ですので、もちろん一刻を争う時は自分が見える範囲の一番高いところに行ってもらうしかないのですけれども、基本的にはその三択の中で、皆様が一番行きやすい場所に避難していただくことが必要になると考えてございます。今後は、せっかくハンドブックを作っても町民一人ひとりにきちと理解をしていただければ何も意味がないこととなりますので、2月11日に鳧舞老人クラブさんからのお声かけで防災講話を実施させていただきますけれども、当町の総務課防災グループで、ここ数年、活発に防災講話というものに力を入れております。もちろん自治会もそうですし、老人クラブ、最近では、小・中学校に向けても防災講話を実施しております。こういう中で、いざというときに、どういう場所に避難できるのかということも含めて理解を深めていただき、万が一の有事に備えていただく、これしかないと考えてございます。今後、お声がかかればいつでも当町の防災担当が飛んできますので、お声かけいただければと思っております。併せまして、独居老人のお話しもありました。現在町では、津波等の避難を要するときに、支援が必要な方の要支援者名簿というものを作成して毎年更新しております。現在約730名の方が掲載されておりまして、町で毎年管理をしてございます。鳧舞で申しますと、グループホームゆとりの里さんの施設は除きまして、現在3名ほどおられるということで認識してございます。今後は、この730名ほどの方の中で、様々な場所に住んでおられますので、津波のときはその方々が危険にさら</p>

自治会員D	<p>される、洪水ではこの方々が危険にさらされるということをきちんと整理した上で対応を考えますが、正直なところ、もし万が一の時に役場職員がそのお宅に駆けつけてという状況は物理的に難しいものがございます。やはり、各種サービスを受けておられる方であれば、施設が関わる場合もございますけれども、一般的には、ご近所様の皆様に助けをいただきながら、避難するしかないと思っております。ただ、名簿に登載された方全てが、助けを望んでいるかどうかはまた別な部分がございますので、時期ははっきり申し上げられませんが、どこかの段階でご本人にその支援を求めるか求めないかという意味確認を行った上で、支援を求める方々の対応について、自治会の皆様と具体的なご相談をさせていただきながら、理想的な形では、一人ひとりの避難計画を立てて、こういう場合は誰が助けに行く、どういうルートで逃げるというものを常に備えておく状況を作りたいと考えております。ただ、一方では言うほど簡単ではないということも思っておりますので、そういう中で一つ一つクリアしていきたいと思っております。繰り返しになりますけれども、当面は、様々な場面で防災講話等を通じて、いろいろなことを知っていただく努力、一方では、自力で避難出来ない方に対する支援方法、この2本柱を軸に防災対策を考えていきたいと考えてございます。</p>
柴田総務部長	<p>十勝沖地震とき、学校にすぐ波が来たのだから墓地まで行く間に流されます。馬場さんところは海拔がゼロだから。それを計画してやっているなら良いけれども、ただやるというだけの話しでは通用しません。十勝沖地震のときは小学校6年生だったけど、学校が揺れている時に津波がきた。家まで帰れなかった。高いところに逃げろと言われてもそれは無理です。だからどこか別にきちんと高いところにすぐに逃げられるところ作らないと何も意味ないのではないかと思います。</p>
自治会員E	<p>国や北海道が想定している内容で、地震が起きてから津波が到達するまで、おおむね24分を想定してございます。その時間の中で先ほど申しました旧三石温泉、鳧舞共同墓地、あるいは本桐に逃げることにはなりますが、万が一、そんなこと言っていられない状況になれば、例えば、鳧舞神社の小高い丘や斜面などに逃げてもらえないかとは思いますが、今の所はその24分で避難場所に逃げられるのかということになると思います。町としては一切何もしませんということを言っているのではなくて、地域の方々とお話しする中で、こういうことをすればもっと逃げやすいなど、いろいろとお話を聞かせていただきながら我々も考えていきたいと思っております。</p>
柴田総務部長	<p>先日自治会の総会をやったときに、避難のことでお話しが出ました。それで、私たちが歳だし墓までもう歩いて行けない。冬なら寒くて建物もないところでどうしたら良いか協議した。自治会長は本桐生活館に逃げて欲しいと言われてたがどちらに行けば良いか。私は少し高いところの厩舎にした方が良いのではないかと思います。</p>

自治会員 A	<p>今後、自身の力だけで避難するのが難しい方々については、地域のお力も借りながら、避難計画を作っていくと申し上げました。そういう中で、町が指定している鳧舞共同墓地や旧三石温泉以外に逃げたらだめですと言っている訳ではなく、地域の具体的な逃げ場所があるとすれば、土地の地権者さんのご協力がなければ勝手に入る話になりませんので、町としては指定出来ませんが、具体的なこともご相談したいと思っています。ただ、津波の場合は一時避難場所と正式な避難場所がありまして、一時避難場所は、とにかく津波が引くまで一旦逃げる場所、それが鳧舞共同墓地や、旧三石温泉となります。そこで一旦津波が引いた後に、ずっとそこにいる訳にはいきませんので、本桐生活館に正式な避難の拠点を町で作って、そこで滞在できるような環境を作っていくということです。一時避難場所にずっといるわけでは無いということだけのご理解いただきたいと思いますし、いろいろとご心配あれば相談に乗りますので言っていただきたいと思います。</p>
柴田総務部長	<p>東静内から春立、三石や鳧舞にかけては全部海岸沿いです。様子にも山側に登るように手すりがついています。町が設置したのか、どなたが設置したのか分かりませんが、うちの町はどうなのでしょう。それと、鳧舞共同墓地は寒い時期に津波が来た場合に皆さんの体を温める場所、プレハブなどを一つ添えていただきたいと思いますけれどもいかがですか。</p>
自治会員 D 柴田総務部長	<p>海岸のところどころに法面に上がる場所があります。全て把握はしていませんが自治会で自ら付けられたところも相当多いと思っています。今後、防災講話の機会などでいろいろなお話しをする中で、地域としてこの場所に階段が欲しいですか、手摺が欲しいということについては、言っていただければ検討したいと思います。ただ、費用がかかることですので要望されたものが全て形になるかどうか分かりませんが、耳を傾けてやれることからやっていきたいと思っています。ただ、先ほどのプレハブにつきましては、鳧舞の方だけでも200人以上の方々がいらっしゃる中で、半分に見たとしても100人ですが、プレハブではどうしようもないです。やはり、波が一旦引くまで逃げてもらうことになると思います。早い段階で避難場所にできるだけ短時間で逃げてもらう方法を町としては考えていきたいと思っていますので、御理解いただきたいと思います。</p>
自治会員 F	<p>津波は川を走るため、逃げられない場合はどうするか。</p> <p>津波の時の鳧舞側の周辺の状況は来月お配りするハンドブックに記載していますが、道路は浸水しないとは言いませんが、何とか通れることを想定しています。地震で道路が崩壊することになれば前提が変わって来ますが、水によって奥に行けなくなることは今のところ想定していないので、地割れなどがひどい場合は別なルートを考えなければなりませんけれども、本桐に身を</p>

柴田総務部長

寄せていただきたいと考えています。

梟舞に来て10年ちょっととなります。以前は教員をやっていたりして梟舞地区の過去の防災計画などは分からなかったのですが、やはり梟舞に住んでいて一番危惧されるのは、津波から早く逃げるといことです。今お話しがあったように墓地に逃げて冬はどうなのだろうかという心配があるのですが、2年前に国の防災計画で北海道では13万7,000人の人が推定で死亡するという報道がありました。しかし、避難場所を整備すると8割が助かるという新聞記事を大事に持っています。

この地区は、梟舞共同墓地と旧三石温泉ということですが、その辺りの整備を何とかして欲しい。ハード面では補助が今までは2分の1ですが、3分の2になるということで、避難タワーなどを作っても何億です。億のお金を使わなくてはならないということで、町としても厳しいのかなと思います。高いところのホテルと提携したりしていることは新聞で知っていますが、まず避難場所をもう少し整備してほしいということ。最低でも、暖房や食料などはある程度保障してあげたいと思います。

次に、ソフト面です。今担当部長から、講話などを通じて要支援者等にお話しをするということを知りましたが、各自治会で防災体制をある程度作っておかないと、いくら町が声をかけても助けるのは近くに住んでいる地域の人だと僕は思います。そういう防災体制をどのように作っていくのか、どういう体制を作ったら良いのか。要支援者の話しがありましたけど、個人情報を取扱いたいか、町としての考えを各自治会の防災の代表者なり、自治会長にきちんと抑えてもらって、それから各自治会が動くという体制を作らなければならないと思いますが、そういうことを聞きたいと思います。

お話しとしましては、ハードのお話しとソフト面の話しと2つあったと思いますが、前段の一時避難場所の部分でございますけども、先ほどもご質問を受けてご答弁をしていますけれども、町としましては、一時避難場所に長時間いていただくことは想定していません。正式な避難所に1分でも早く動いてもらえる方法を考えています。一時避難場所に暖をとるところを作り、食料も用意してということについては想定していません。町内の一時避難場所に、全てそういう機能を持たせるとなると、とんでもない数になりますので、あくまで一時避難場所ということでご理解いただきたいと思います。ただ、先ほど別の方からもご指摘ありましたけれども、一時避難場所に逃げるときに、手摺が無いから登りづらいとか、階段が急だなどのご相談については、我々もお受けしながら対応できることからして行きたいと思っています。

もう一方の地域の助け合いの共助というところですけども、今おっしゃったとおりだと思います。いざというときに、地域が助け合える仕組みがなければ、助かる命も助からないと思っておりまして、我々も事あるごとに、自治会長様をはじめ地域の方々に自主防災組織というものを作っただけませんかという呼びかけをしてございます。梟舞地区についてはもう既に設立していた

自治会員F	<p>だいておりますが、全町的には、まだ48団体で、パーセントで言うと25パーセント程度で、まだまだ4分の3が設立していない状況でございます。今後も呼びかけながらやっていきたいと思っておりますし、近年、世界各国で、ちょうど昨日、トルコで大きな地震があって、3千人、4千人亡くなったと話してもされている中で、かなり国民の防災に対する意識というのは変わってきているところもありますので、やはり呼びかけをしながら、周りに目を向けていただいて、助け合いの仕組みを役場も協力しながら一緒に作っていくということを粘り強く続けていくしかないと感じています。</p>
柴田総務部長	<p>前の防災ハンドブックの中にも、自主防災組織が載っています。町としてはこういうものを作って欲しいと思っていますが、自治会長さんなど、ある程度動くのは各単位自治会だと思います。そこまで町は面倒見られないとか、出来ないと思います。だから、そういうことについて、やっぱり代表者なり自治会長さんを集めて、最低限こういうことを取り組んで欲しいというような会議を設けて欲しいという要望意見です。</p>
自治会員F	<p>毎年自治会長会議を行っております。そこでは行政のお話をさせていただいてはいますけども、進んでいないのが現状です。更に、積極的に地域に刺さり込んでいって何とかお願いしたいと思うのですが、自治会長さん1人ではどうにもならない地域もあります。そこは、簡単ではないかとは思っていますが、今後も繰り返しやっていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
柴田総務部長	<p>毎</p>
自治会員C	<p>以前自治会長会議に出ましたが、やっぱり防災についての話題は少ない。命に関わることであり、新ひだか町全域が浸水区域になっています。だからやっぱり専門的に防災会議みたいなものをきちんと設置して欲しいという考えです。</p>
柴田総務部長	<p>具体的に検討出来ていないのでお答えできませんが、さらに、各地域にご検討いただけるような流れをどう作るか知恵を絞って考えたいと思っております。</p> <p>住民の方々から貴重な意見ありがとうございます。そういう小さなことの積み重ねが、大きな成果になると思います。防災計画の内容の鳧舞共同墓地と旧三石温泉に一時避難すると決めたのは当時の担当でございます。神社の山との意見もありましたが、もっと高い方が良いということで共同墓地となり、荻伏側は橋が壊れた時を考えて旧三石温泉と二つに分けようということでスタートしました。やっぱり自分の命は自分で守らなければならない。単位自治会の中で本当にここが最適な避難場所かということを見直せということで、今年の課題としました。自分でその時の状況で逃げる場所を考えて行動して欲しいと思っております。まず自分の近くの安全性の確保のためにどうしたらいいかということを考えていただきたいと思っております。</p>

自治会員D	<p>それから、防災無線が新しくなりましたが、この機能とはどんなものなのか。言いつ放しなのか、それとも、どこにどんな状態で被害があるのかというカメラ付き把握しているのかをお聞きしたい。</p>
自治会員C	<p>防災無線の件は、一昨年に全町的にスピーカーを整備し直しましたが、静内の本庁舎から新ひだか全域の海岸線に付けておりまして、一斉に放送ができるシステムになっています。現状の機能としては、放送する機能のみであり、例えばカメラなどで周辺を把握するような機能は付いておりません。リアルタイムに地域の状況が分かる体制にはなっていないということをご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員D	<p>近くで逃げるところを考えなかったら間に合いません。地震あったら道路が割れるのだから。人間が落ちたのだから。</p>
大野町長	<p>生き証人ですから、聞き取りをして、実際はどうだったのかということ詳しく調べていただいて、広報でも良いし、我々の広報の鳧舞地区の実話ということで上げていただきたいと思います。</p> <p>十勝沖地震は津波が来たのは7分です。たった7分ですよ。</p> <p>実は私のお袋から十勝沖地震の話しを聞いたことがあります。その時に築港の水が全部なくなった、底が見えたと言っていました。大きい川は当然ですが小さい川も水が走るように上がって来たと言っていました。現在、国が出している震源地は十勝沖地震の震源地と違いますので、今のところ津波は24分というシミュレーションなっています。いずれにしても、大きな地震が来た時には、家の中もぐちゃぐちゃで、想像できない状態であると思いますけれども、先程から総務部長が話しているとおりに、まずは高いところに逃げるということで、みんなで支えながらやるしかないと思います。何かご相談があれば役場に言っていただければ、また検討を重ねていきますのでよろしく願いいたします。</p>
意見交換	19:18～
自治会員E ・鳧舞生活館について	<p>鳧舞生活館が新しくなってからはコロナが始まり、主人が亡くなった時に生活館が使えなかった。それで静内に行ったのですがすごく経費もかかります。これから生活館を貸してもらえるのか、お葬式をやって良いのかどうか知りたい。金額もどのくらいかかるのだろうか。</p>
米田地域振興部長	<p>生活館は葬儀に使えます。今すぐ使用料の額は出てこないですが、そこまで高くはないので安心してください。</p>
自治会員D	<p>海浜公園で海水浴場はやらないのか。やらないのはおかしいと思う。太田町長のときには絶対これから人も呼んできちんとやるからやらせてくださいと言</p>

柴田総務部長	<p>った。それで漁業権を取り上げてやらないのは、つじつまが合わないと思う。この波の悪いところでやったらだめだから最後まで反対した。それでもやって、今は出来ませんという話しはおかしいと思う。</p> <p>現状としまして、町としても海水浴場をやりたくないというよりも、様々な護岸の劣化ですとかで、危険な状況になっているのでやれないという状況です。再開するには、北海道さんとの連携も必要になりますけれども、護岸の改修などの安全対策をきちんとした上で、安心して子どもたちに遊んでいただける環境を作っていかなければなりません。そこが思いどおりに行っていないのが現状でございます。</p>
大野町長	<p>おっしゃることはよく分かります。海水浴場を整備するので、漁業権を放棄してくれという話して、その時の漁師さんたちが協力をされたということは事実としてあると思いますが、今の時点で海水浴場として使えるかどうかという判断をするとすれば、総務部長が話したように現実問題としてできるかという点と難しいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員D	<p>できないのは分かるが、草刈りなどの管理も税金で賄っていると思う。できないのであれば税金で返済すればいいと思う。</p>
大野町長	<p>草刈りをしているのはキャンプ場に使っている方で、海の中ではないです。あそこは道の駅とキャンプ場として一体を整備しています。おっしゃっている海のお話しは分かりますが、現在は護岸も大変な状況になっているため、できないことをご理解いただきたいと思います。</p>
自治会長C ・マイナンバー カードについて	<p>マイナンバーの件ですが、マイナンバーが本当に必要だと思っただけひとも推進を徹底していただきたいと思います。このマイナンバーは本当に良いのかという不安がよぎります。本当に必要だったら2月いっぱい完了するように進めていただきたいと思います。回答はいいです。</p>
自治会員D ・廃校舎について	<p>学校はどうするのか。町のやることはおかしい。学校だって住民の人は反対した。広瀬教育長がここは老人ホームに使うから大丈夫だと言った。みんなの税金かかっている。</p>
米田地域振興部長	<p>この梶舞小学校の体育館を作るときに教育委員会へ異動となり、多少ですが携わっております。あの当時の梶舞地区の方のご意見は、地域に先生たちがいなくなったら、地域の自治会活動も立ち行かないのではないかなどのご意見もあり、小学校を建設する当時に話し合いをしています。その記録は見せてもらったことはあります。同じように川上でも地域の方からご意見をいただきまして小学校を建設しましたが、このような結果となっております。現在は、佐藤契約管財課長が廃校を売却するために頑張っていますが、梶舞は土地が国道沿い</p>

<p>自治会員G</p>	<p>のため高額のため、なかなか売れないのが現実です。比較的新しい学校が廃校となってしまったことは、旧三石町の職員としても本当に辛いところでございますけども、何とか有効に使えるようにしたいと思っておりますが、地盤も少し悪い状態であり、まだ売却されていない状態です。浦河町では民間で老人ホームとして活用しているところもありますので、できればそういうところで活用していただきたいと望んでいる次第でございます。</p> <p>学校の件ですが、本当に地盤は良くないのに土地代が非常に高いと思う。地震の通り道で地盤が割れたのは間違いない。地盤が良いのは海側です。ですから土地を安くして、建物は無償でということも良いと思います。それと同時に、業者が入ることになった場合、住民が一体となって賛成していかないと絶対まちづくりは出来ません。ですから、今日来ている皆さん方も両手を挙げて、まちづくりを応援してやるという気持ちで、町長さんをお願いすれば、町長さんだってやりやすくなるのではないかと思います。学校を使ってもらう方法を考えるのが住民だと思っております。ですから土地代は高いから、それこそ無償でもやろうというような気持ちでいかないと、すごい土地です。ですから、私たちが経験しているけど、土地の値段はどうやって決めたのだろうと私はそう思って見ておりました。このまちづくりにはやはり、住民が一体とならなければ絶対できない。そこを住民も考えてやっていったら良いと私は思います。</p>
<p>大野町長</p>	<p>本当にありがとうございます。</p> <p>私が町長になったときは、建物代と土地代で学校を募集していました。2年くらいその内容で募集しましたが、なかなか売るのが厳しいということもありまして、建物は無償にして売却するようなことで公募してみようと思えたことで何件か売れ始めたところです。おっしゃる通り国道沿いにあるため土地代金が高いです。民間の売買であれば安くできますが、役所ですから、国が定めている路線価などいろいろなものを利用して売りますので。いずれにしても、私も早く買っていただきたいと考えていますので、引き続きいろいろな面で他の事例なども調べながら、しっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので、またそのときはよろしく願いいたします。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>19:40～ 大野町長</p> <p>いろいろなお話をいただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>やっぱり時代というのは変わってきているものですから、その時代に合わせながら、尚且つ、それを見た中で、どういうことをすべきか非常に難しい。先が読めない時代ですので、難しいですけれども、過去よりは絶対変わっていますので、最低限その状態の中で、しっかりと物を考えながらやっていきたいと思っています。</p> <p>この地区は米田さんと佐伯さんは3月末で退職の年になります。60歳になりますので、これから違う道に行くのか、何をするのかはよく聞いていませんけれども、お世話になったと思っております。引き続き、これからもよろしくお付き合い願えればと思うところでございます。</p>

	今日は本当にありがとうございました。
閉会	19:40 終了

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月10日（金）13:30 ～ 14:20
会 場	歌笛総合住民センター
自治会名	歌笛地区連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、 佐藤契約管財課長、山口消防長、高澤警防課長、佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 14人</p> <p>【自治会側】 15人（男性15人、女性0人）のほか、町議会議員4人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	13:30～
自治会長挨拶	<p>13:31～</p> <p>皆さん、こんにちは。 本日はまちづくり懇談会に、川上地区の皆さんもご一緒に出席いただきありがとうございます。</p> <p>また、寒さ厳しい中、そして冬らしく真っ白になり、足元の悪い中、大野町長をはじめ、町の関係者の皆様には、何かとご多用のところご出席を賜りありがとうございます。町には、日頃から歌笛地区の要望に対し、いろいろなご対応をしていただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。</p> <p>昨年は中止となりましたが、例年2月に要望してまちづくり懇談会を実施しております。参加された自治会の皆様とともに、要望等について懇談させていただきますので、意義あるご意見を賜りますようお願い申し上げます、簡単ですが開会の挨拶といたします。</p>
町長挨拶	<p>13:33～ 大野町長</p> <p>改めまして、皆さんこんにちは。 自治会長さんからもお話しがありましたが、寒さが続いております。結構冷えておりまして、街中でもこの地区は山あいに入っておりますので、特に冷えがきつく、水道が凍結したと聞いております。</p> <p>昨年はコロナということで、こういう場を持つことができませんでしたけれども、今年5月の連休明けからはコロナも2類から5類に変わりますが、基礎疾患がある方は引き続き注意しなければなりません。町の状況で申しますと、細かい発生情報は私のところにも入ってきませんが、病院関係で入院している方がかかると、そういうところは感染が止まらない状況もございますので、引き続き感染予防に気を付けていただければと思います。</p> <p>今日私どもからは、1点のご報告をさせていただきます。また皆様から2点ご</p>

	要望いただいておりますので、その要望事項を中心に意見交換をさせていただければと思いますのでよろしくお願いします。
職員紹介	13:35～
資料説明	13:36～ 渡辺町立病院事務長 ・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について
質疑 自治会員A	13:40～ 新しく来る先生は、町内に在住するかどうか差し支えなかったら聞きたい。例えば、札幌からの通いで週末は帰るのか、それとも、町内に居住するのか、できれば何歳かくらいかも聞きたい。
渡辺町立病院事務長	はい、歳は現在53歳でございます。居住の関係でございますけれども、自宅を構えておりますので、週末については町外の方でということと予定しております。
自治会員B	診療科の中で、小児科の部分で対応出来ない部分は、近隣の病院でという言い方をなされましたが、川上・歌笛地区でも近隣といったらどこになるのでしょうか。そういった部分の対象となる病院があるのでしょうか。
渡辺町立病院事務長	この近隣とは、まず浦河町ですね。日赤さんの方で小児科がありますので日赤さんと、静内地区は町立静内のほかにも徳洲会病院がございますので、そちらにと考えておりました。
懇談希望テーマ	13:42～ ①消防第2分団常駐員について 歌笛地区に昼間3名の団員の人員確保が難しいため、昼間に1名配置して欲しい。
山口消防長	ただいま消防団員数の減少に伴う影響で、その対応ということだと解釈しています。消防団員の減少に対する影響というものはもう全分団に通じた共通の課題や影響があるところでもあります。現組合の消防団員数は342名となっております。ここ10年で56名減少しております。かつて450名近くだったと思います。が、どんどん消防団員数は減少している現状にあります。これはこの地区だけではなく、全国的にも毎年1万人以上減少が続いている状況です。そのため団員数を何とか確保しようと、新規の団員確保に向けた対策を私どもも実施はしていますが、なかなか効果がないといった状況であります。そのため今年度新たに、団員の現在消防車両を運用するのに必要な準中型免許に対する助成、取得に対する助成を新たに導入してまいります。今後、さらに団員確保に向けた対策を継続して進めて参りたいというふうに考えておりますので、ご理解のほどお願いしたいと思っております。
自治会員C	質問ではないですが、実は美野和の分団も消防車が1台配置してもらって、現在5人でお願いしているような状況です。先日団員の方が来て今年2人辞めるということでそうすると3人しか残らない。そうすると1人かけたら消防車

<p>山口消防長</p>	<p>は動かなくなる。そうすると歌笛も消防車が動かない、美野和も動かないとなると、川上まで行かないと消防車が動かないような形になると思いますが、地域としても、また災害区分とかの火災が起きてないのですが、少し心配な状況があるので、是非ともこれを進めてほしい、美野和に1人置いてくれということにはならないかもしれないので、せめて歌笛には置いて欲しいと思う。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>消防団の各分団の組織も高齢化などがありまして、辞められる方が多いとお話しさせていただきましたが、そうかといって地域の防災を維持する力を減少させるわけにはいかないと考えております。そのために、今ある分団、例えば、2分団の時には例えば4分団を同時に招集するとか、そういった広域的な連携を図りながら町も動きますけれども、広域的な連携組織を活用しながら、災害時には対応して参りたいと考えております。ただ、そういう5つの地域の防災力を維持するために、抜本的な所の見直しというのをも併せて実施していかなければならないと考えております。現在もう既に、その件については協議を進めておりまして、近い将来ですけれども各消防団の方、それから地域の方にもご相談しながら再編等も進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>第2分団分団長をやっています。昨日役員会を開きまして、美野和の関係も2人退団で、そのうちの1人しか農家でなくて勤め人ですから、常時その近辺にいるのが1人となっているので、かなり負担がかかっている。どうしても自分一人で責任持って、美野和が火事になった時に出勤しなければならない。歌笛もそうですが、ほとんどが勤め人で、自営は1人か2人しかなくて、どうしてもその人がどこかに行くときにお互い連絡しますが、やはり負担でどこにも行けない状態です。去年、若い方が何人か入ったのですけれども、川上は充実していると思いますが、どうしても二つ目の定数、美野和の人数がいなくなったら歌笛に吸収合併しようという話しは進んできたのですけれども、この手薄の状態新しい人が入ったから、車の免許が無いから補助しようとかそういう段階ではないです。実際自分たちの住んでいる所で火災があった時に出なければならない体制にいる時に、今から考えますではなく、そういうのを早急にやっていなかったら、責任もって消防車を運営しているのですけれども、地域を守るためとか、火事があった時だけご苦労さんでしたと言われるけれども、私達も責任持って職員ではないので休みもなく1年中その責任を持っていなければならないというのはかなり大変です。どうしてもその団員自体も歳で、定年60、65と言っていますが、ほとんどそれに近い状態で、その中でやりくりしていかなければならない。物すごい苦痛というのか。今の若い人方が親の世代で、子どもたちがいるために消防団員に入らない。入らないのはその世代が特に増えてきているので、いざ火事という時に出て行かなければならないのは、その年代だけですけれども、やっぱりそこに負担は余りにもかけられないという状況です。常時土日の夜はいるので本当に駆けつけ消防みみたいな形ですけど、そこは何とか充実します。月曜日から金曜日の平日だけでも何とか回して</p>

山口消防長	<p> いただいて、そこだけカバーしていただければ、消防車も動かせる状態で、火事になったらいけるとか、そういう状態を昨日も話したのですけれども、その状態を取ってもらわなかったら、もし火事で行って、消防車1台も動かなくて、お前ら何やっていると言われるのは私らです。これを何とか回避したいと思うのでよろしくお願いします。 </p> <p> 日頃より地域防災のためにご尽力いただいていることに対しましては本当に感謝申し上げます。冒頭で私の方からお話ししましたとおり、高齢化による団員減少については2分団以外にも、管内全分団に共通している課題でございます。消防車両の運行に対しても、支障をきたしている部分というお話しを聞いております。ただ、この問題を抜本的に解決するにはやはり、組織の再編等も必要なかもしれませんけれども、組織を一度再編してどんどん縮小してしまつては、地域の防災力もどんどん落ちていくのではないかと考えております。ただ、その再編も合わせて抜本的な対策になるのは新規入団者の確保と考えております。両方合わせながら並行して進めながら、私どもとしても少しでも、全く改善にはならないかもしれませんが、改善に向けて努力はしていきたいと考えておりますのでご理解をお願いします。 </p>
水谷産業建設部長	<p> ②公営住宅の入居について 歌笛地区にある公営住宅の新規入居をしない理由は。 </p> <p> 歌笛地区の公営住宅の入居についてご説明させていただきます。まず初めに、公営住宅の現状ですけれども、昭和62年から平成5年にかけて、6棟12戸建設されています。その後、平成9年と平成10年で10棟24戸、合わせて16棟36戸が公営住宅として管理をさせていただいております。 </p> <p> このうち昭和62年から平成5年にかけて建築した6棟12戸については、建設から30年から36年が経過しているところで、老朽化している現状でございます。これについては、平成25年に策定しました公営住宅長寿命化計画に基づきまして、順次改修したいというところで考えでございます。こちらについては、人口減少だとか今後の人口の推移などを考慮した中で、町全体の公営住宅の管理戸数を調整していくという計画も含んだ内容になっております。 </p> <p> 今後公営住宅として管理していく部分については、平成9年、平成10年に建築しました10棟24戸を管理していくというようなことであります。そのうちなぜ入居させないのかというところですが、今後管理していく10棟24戸については、そのタイミングの時に、もしかしたら公営住宅に空きがなくて入居が出来なかったのか、その辺りはちょっと不明ですけれども、現在この10棟24戸のうち、昨年10月に退去された方がおり住宅修繕が完了しました。第3回の入居募集で候補を募って入居募集を図ってきたところで、11月の時には入居希望がなく、次回の公募の予定については2月末から3月の中旬にかけて公募するところです。ご案内は、2月25日に発行します町広報の3月号で公募を予定しておりますので、その際に入居の申請を出していただきたい。1戸空いております。 </p>

	<p>ので、繰り返しますが町広報の2月25日発行の3月号で広報しますので、そちらに詳細を書いておりますので見ていただきたいと思います。</p>
<p>意見交換 自治会員 B ・川上会館について</p>	<p>14:01～</p> <p>川上会館の管理をしています。町に要望したい部分が、厨房のガス瞬間湯沸かし器の排水が下の排水管につながっていない。途中で切れていて、寒い時は玄関付近で水を抜かなければいけない。その時にバケツを当てて水抜きをして、当然湯沸かし器の水も抜いてしまう。ところが、川上会館の場合は、使用率が多い老人クラブは毎回トイレを使うので必ず水を出してやらなければいけない。最後には凍結予防のため行ったとき、その水抜きが排水につながっていないがためにバケツを当ててバルブを開けて水を抜く処理をしなきゃいけない。1週間に1回必ず老人クラブが集まって施設を使用しますので作業は必要です。尚且つ、その水抜き排水のバルブも床下の上部に設置されているのですが、工具がないと回せれない、操作ができない。これも何度か直接静内に行って要望したわけではないですけれども、いろいろな方をお願いしたところもありますが、一切改善する予兆も全然見られないので、この辺りはどうなるのかと思っています。</p> <p>もう一つは、駐車場の敷地から道路まで木柵がありますが、まだ一度も交換していないと思う。環境対策や何かの部分で防虫防鼠の対処をしていないと思う。ほとんどが傾倒して全て連鎖して倒れてしまっている状況です。今回、川上地区で葬儀があったので、木柵が垂れ下がった部分は補修したのですが、その杭に補修するビスもきかない状態になっております。当然耐用年数は超えていると思いますので、その都度交換してもらえと思っていますので、30メートルから40メートル対処してほしい。そういった細かいお願いを川上地区からのお願いといたします。</p>
米田地域振興部長	<p>ありがとうございます。施設管理のことでいろいろとご不便をかけているということで、現場に私ども伺いますので教えていただければ、私たちの方でそれを改善する形で進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
<p>自治会員 A ・歌笛総合住民センターの改修について</p>	<p>自治会要望事項として毎年町で取りまとめている、歌笛連合自治会から長年に渡って住民センターの改修についてお願いしていますが、今年の年明けだったか担当から考え方について説明は聞きましたが、まだ時間がかかりそうで、今日他の自治会長もいるので、具体的に実際にどれぐらいの期間で、どう考えているのか概略を説明してもらえれば、毎年要望事項で上がって、他の自治会員さんはいつどうなるのか全然わからない状況なので、ある程度こういう考え方で進めていく、目途としては何年ぐらいまでにこうしたい、その通りになるかならないか別としてある程度のゴールが見えないと、ただ毎年同じことを要望してだけで、町からの回答も毎年同じ状況なので、ある程度その計画なり、目途を説明出してほしいと思います。</p>
佐藤契約管財課長	<p>先月の連合自治会役員会の場をお借りしまして、今後の概要についてご説明</p>

<p>自治会員A</p>	<p>させていただいたところです。町では公共施設等総合管理計画と言いまして、これは簡単に言いますと地域に幾つかある同じような施設を集約させていただいて、その施設を改修なり改築して長く使ってもらい、併せて将来的な負担を減らしていきましょうという考えから、計画を策定しまして、各地区で順次進めてまいりました。令和元年度から、鳧舞地区続いて本桐地区、今年度につきましては、川合西川地区を終えまして、令和5年度東別西端地区の集約を予定しております。その次に、歌笛地区に取りかかりたいということでご説明をさせていただきました。今やっている集約事業は国の交付金事業を活用して実施しているところです。この交付金事業ですけれども令和5年度で一旦計画が区切られて、また令和6年度から新たに計画を立てる予定でありまして、基本的には歌笛地区の事業にも活用したいと町としては考えているところですが、現時点ではまだその計画の詳しい内容が国から明確に伝わっていない状況であります。ただ、歌笛地区につきましては、以前から総合住民センターの改修なり改築の要望をずっと挙げているのも分かっていますので、次はこの地区で事業を進めていきたいと町としては考えております。ただ、先程申し上げましたとおり予算と言いますか、財源の部分がはっきりしてないという関係もございますので、まず令和5年度で地域の皆様と協議を進めさせていただきまして、改修なり改築に当たりまして希望通りできれば良いのですけれども、できるところや難しいというところを来年度に向けまして整理させていただいて、こういう建物施設を作っていきますという大枠を固めながら次のステップに進めていきたいと考えております。基本的には、この敷地において、今の建物を改修なり改築という形になると思いますので、そこに設計等も入ってきますので、財源の関係もございますけれども3年ぐらいは少なくともかかるのではないかと考えていますが、計画の部分もございましていつとは言えないのですけれども、一つずつ課題を解決して改修や建て替えに考えていければと思います、進めているところでございます。</p>
<p>大野町長</p>	<p>いつとは約束できないけれども、概ね令和8年位までには何とかしたいという考えで理解して良いですか。できる、できないを確約すると言っているわけではないから、検討しますとずっと言うのではなくて、少なくとも令和8年くらいには何とか町としても目途を付けたいという言葉があれば、歌笛の人もああそうかと安心すると思います。だからどうしても令和8年までに何とかすれと言っているわけではない。その辺りの考え方を町長の責任において説明してほしい。</p> <p>完成が早ければ7年で出来上がる可能性はありますよね。今年は、令和5年に皆さんと相談しながら、改修してどのくらいの規模にするのかなどの協議をしながら、6年からの次期計画、国に計画書を出すのですがそこに出しましょう。それも恐らく5年計画を作ることになるのですけれども、7年にはうまくいったら出来上がっている可能性はあります。すごく立派なものを要求されると困りますけど、早ければ7年、6年度の計画なので、いずれにしても国から交付金をい</p>

<p>自治会員 A</p> <p>・歌笛橋から富田宅前までの道路修繕について</p> <p>水谷産業建設部長</p>	<p>ただくようなことというのが、全国の各地区の予算の調整がありますので、これは何としても私の気持ちとしては7年には整理したいと思っていますのでご理解をいただきたいと思います。</p> <p>歌笛橋から富田さんのとこまでの十字路までの舗装がものすごい凸凹になっている。浦河に行く道路として物凄い交通量が多い。今のままで浮き沈みを放置しておく、かなり支障をきたすというかスピード出さなければ良いが、うっかり出すと、車が壊れるぐらいのショックを受けるような状況で、少なくとも引っ込んだ所の穴埋めだけでも、応急的な措置をしてもらわないと、今のまま置いていたら除雪するにも大分障害があるのではないかと思う。それぐらいひどい。早急に応急措置をしてほしい。</p>
<p>自治会員 A</p>	<p>町道の舗装の段差については、自治会要望の写真を見えています。きっと地盤が悪くて高層物があるところやマンホールなど結構段差が付きやすい場所になります。そういったところについては、町のパトロールなどをして通行に支障があるところは修繕をするようにしております。現在のところかなり段差があるような状況も見受けられますので、改めて現地を確認させていただいて、修繕が必要であればさせていただきたいと考えております。予算の関係もごございますので、早急のできる部分と優先順位を考えながら適宜修理を進めていきたいと思っておりますので、戻りましたら担当にも今一度現地確認するように指示しますので、ご御理解をいただきたいと思っております。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>現地確認して対応をどうするか、出来なければできないなりの答えを自治会長にしておいてもらわないと、話し聞いて要望しました。はいわかりました、善処します。そのあとなしの礫では困る。要望したことに対して考えますと言った限りは、きちんとこういう事情で検討したけれども出来ませんとか、来年再来年には何とかしますとか、そういう答えをきちんと回答してもらいたい。自治会長を通じて、ただ聞きました、何とかしますだけで終わらせてはダメ。こうやって話しを聞いて答えは大体決まっている。予算がないとか何とかします、考えます。なんとかします、考えますと言って考えてくれた試しがない。だからその答えをきちんと自治会に出してほしい。</p>
<p>自治会員 A</p> <p>・ごみの問題について</p>	<p>はい、わかりました。間違いなく現地も確認して、自治会長さんに補修の時期だとか今後の計画についてご説明するようにいたしますのでご理解願います。</p> <p>南歌笛橋付近のごみの問題ですが、担当する職員も説得するのはとても大変だと思います。許可もらったかどうか知りませんが、掘っ建て小屋みたいなのを建てて、堂々と投げているが、少なくともそういう資格を取ってやっていると言い張るのであれば、周りにごみが飛散しないようなフェンスをちゃんと張ってほしい。施設管理をきちんとしてやれというぐらいの命令はできると思</p>

<p>米田地域振興部長</p> <p>自治会員A</p> <p>米田地域振興部長</p>	<p>う。あのまま本人の勝手にさせて投げておいたら、地域としては大変迷惑な話しですから、ただそれなりの対応をやる、ある程度行政で取ってもらわないと、やる方は大変かもしれないけれどもそれが仕事だから、やっていただきたい。</p> <p>南歌笛橋のところのごみのことですけれども、あれはもう10年以上の問題になっています。それで、先ほど●●さんという話しが出たのですが、その方が、あれはゴミではないという主張をしている。それで一昨年、警察が入っています。警察が入って、あそこの中身を全部確認して、現在は犯罪になるのか、どこの業者があそこに持ってきているか等を全部捜査しています。その結果を警察からは聞けませんが、今もその業者に指導はしているという話しは聞いています。ごみの中を確認しましたら産業廃棄物だったので、振興局では、今でも毎月、担当者が本人のところに行って話しを聞いている。そして中の調査する時は、警察と町の職員も一緒に立ち会ってやっていて、改善に向けて進めている段階だということまでしか今のところ言えませんが、ご理解くださいというのは難しいかも知れませんが、今そうやって進めているという段階でございます。</p> <p>資格は持っているのか。</p> <p>持っていません。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>14:20～ 大野町長</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>まだ、夕方から出る用事があり、時間もあるので、都合がよければ川上会館を見せてください。あと道路の穴も帰り見ていきますので、その結果でまた課内で協議しまして対応方針を決めていきたいと思っております。また何かありましたら、三石支所に米田部長と佐伯課長がおりますので、いろいろと言っていただければと思います。</p> <p>今日は本当にありがとうございました。またよろしく願いいたします。</p>
<p>閉会</p>	<p>14:20 終了</p>

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月14日（火） 18:00 ～ 19:00
会 場	総合町民センターはまなす
自治会名	三石地区連合自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、</p> <p>佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 11人</p> <p>【自治会側】</p> <p>19人（男性16人、女性3人）のほか、町議会議員6人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～
自治会長挨拶	<p>18:00～</p> <p>皆さんこんばんは。</p> <p>今日はまちづくり懇談会に参加していただきましてありがとうございます。</p> <p>今日の説明は病院の再編成とかではなく、三石病院の医療体制について町から説明がありますので聞いていただきたいと思います。病院の再編成については後日、説明会があると思いのますので、よろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	<p>18:00～</p> <p>改めましてお晩でございます。</p> <p>ここ数日は雪が降り、目が覚めると外が真っ白になっていまして、雪が少し降っていますけれども、日中の日差しが強くなってきたものですからすぐ溶けてしまいます。とは言いながら、今の時間になると、やっぱり少し寒い状態が続いております。これから、あと1か月ぐらいすると暖かくなってくると思います。</p> <p>依然としてコロナの関係で申しますと、病院関係で出ているケースが多くなってございます。マスクの扱いについても、3月にははっきりすると思えますし、5月以降に医療体制をどうするのかということもこれから国から出てくると思えます。その中で今日は私どもから、三石国保病院の先生が変わるということで、そのお話しを中心にさせていただこうと思っております。またその他の時間で、何かご意見がありましたらいろいろご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。</p>
職員紹介	18:00～
資料説明	<p>18:00～ 渡辺町立病院事務長</p> <p>・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について</p>
質疑 自治会員A	<p>18:03～</p> <p>今ご説明で、私の記憶によりますと、三浦先生は、平成13年から三石国保病</p>

<p>渡辺町立病院事務長</p>	<p>院に勤めまして22年程になると思いますが、三浦先生に本当に長い間ご苦労さまでしたと申し上げておきたいと思います。</p> <p>三浦先生は小児科と内科が専門でございました。それでお聞きしますけれども、三浦先生は三石小学校、三石中学校の学校医というか、それを専門に児童生徒の健康診断、あるいは予防接種等も行ったように聞いておりますけれども、今度来られる土田先生は、三浦先生と同じように子どもたちの診療もしていただけるのかどうか聞きたいと思います。</p> <p>小児科の診察でございますけれども、土田先生に確認をいたしました、やっぱり専門的な診療となりますと難しいというお話でございました。ただ、時間を要しますが勉強させてほしいということでございましたので、ゆくゆくは、診察していただけるようになるのかとは思っております。また小学校の健診業務でございますけれども、そちらについては引き続き行うということでございました。また、乳幼児の健診等々、病院の事業ではないですが、北大の医師が来て行っていただけるというところの確認をしてございますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>自治会員 B</p>	<p>国保病院の入院のことについていろいろ噂を聞きます。入院病棟を無くすと耳にしたことがあります。医師2人で、外来もやり、入院も面倒見るということは負担になります。入院は大変だと思いますが、その点今の国保病院の中での入院の対応はどうなっているのか、今後このままいくのか、あるいは入院は将来難しくなるのか、考えをお聞きしたいと思ひます。</p>
<p>渡辺町立病院事務長</p>	<p>現在の入院の対応ですが、三石国保病院は一般病床20床、療養病床22床、許可病床数が全部で42床でございます。一般病床については、医療従事者の関係で今休診としております。療養病床22床のみで医師2人で病棟を運営してありますが、令和5年度につきましては、土田先生についても病棟を診ます。基本的には5年度以降も、診察を行っていく予定でございます。またその無床にするかどうかというお話しは、改革プランで町からお示しをしておりますので、そこについては先ほど出口会長からも言われたとおり、また改めて説明会を実施いたしますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
<p>意見交換 自治会員 C ・三石ハイヤー について 藤沢保健福祉部長</p>	<p>13:33～</p> <p>三石ハイヤーのことですが、近々やめるような形になるみたいですが、そういう中で例えば朝病院に年寄りを送って、また途中で迎えに行かなければいけないというところの足に今までタクシーが結構使われていたと思ひますが、今後タクシーが無くなった時に町としてはどういう考えなのかお聞かせ願ひたい。</p> <p>三石ハイヤーさんが辞めるというお話しは初めて聞いたので、今何とも言えないところでございます。ただ、三石ハイヤーさんも、運転手さんの年齢が高いというお話しは以前から聞いていたもので、いずれは三石ハイヤーさんの</p>

<p>自治会員D ・病院関係について</p>	<p>後がいなければ、ハイヤーが無くなってしまふかなというところは危惧しているところがございます。今後、三石ハイヤーさんが無くなったときに、患者さんが病院に通うだとか、買い物に行く時にハイヤーを利用出来なくなるというところがございますが、今のところ病院については、コミュニティバスなどを利用していただきたいということになると思っております。ただ、バスに乗れないから病院にも通えないということが出てくると思っていますので、その部分は今後、移送サービスというサービスを介護でやっている部分がありますので、そこがどこまで利用できるかというところを今後研究していかなければならないと思っております。また、どうしても病院に行けないということになれば、在宅診療、訪問診療なども、三石地区だけではなくて、新ひだか町全域で考えなければならない課題だと思っております。特に、ハイヤーさんが無くなった場合、病院だけじゃなく買物だとかそういうことにも影響が相当出ると思っておりますので、町全体として移動手段を、法的にも、民間的にも協議していかなければならないと思っておりますので、今後も協議をさせていただきながら、移送については対応してまいりたいと考えております。そのときには、やっぱり皆さんからいろいろご意見をいただかなければならないと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p> <p>自治会員E</p>	<p>病院のことですが、将来的に再編するということですよ。この原因は赤字が多いからということですか。赤字を減らすために病院を減らす。減らしても赤字は増えると思う。それだったら徳洲会病院が建て替えます。そういうところを町の指定病院とかにして補助を出していけば、医師の心配も要らないし、そういう点では非常に良いという考えもあります。そういうことを町が考えたことがあるのでしょうか。そういうことも考えるべきだと思いますがどうでしょうか。</p> <p>病院改革プランのお話しについては、先ほど言いましたように別にやらせていただきたいと思ひます。再編について簡単に説明させていただくと、最初は赤字のことが中心でありました。ただ、いろいろと勉強していく上で、1番はやっぱりお医者さんや看護師さんなどの医療スタッフの確保が難しいというところの方が問題なのかというところと、先ほどの質問にもありましたように、今後、独居老人が増えた時に、病院にも向かって行けないのではないかと心配の方が我々としてはお金の問題よりも強いというところで、病院改革プランを見直しさせていただいているところがございます。赤字を埋めるのは、どこかを節約すればできるということは思っていますので、赤字を少なくするのは当然だと思っておりますが、それ以上に、やはり、診療施設を守るというところに視点を置いたときに、最低限どうしたら良いかというところで勉強をさせていただいて、計画を策定しているという状況でございます。これについては、先ほど申し上げたとおり別途説明会等についてはお約束ですので開催させていただきます。そのときにまた詳しいお話しをさせていただきたいと思ひますが、赤字というよりも、医療スタッフ、医療資源を集めることの方</p>

<p>・外国人労働者 (蓬萊荘)に ついて</p>	<p>が、今は難しいということで計画を立てるということでお願いしたいと思いま す。</p>
<p>藤沢保健福祉部長 自治会員 E</p>	<p>いろいろな町で、老人ホーム、児童館、保育所は民間委託にしていく傾向が 非常に強くなってきているようです。老人ホームも民間に委託したという形で 従来いた職員がほとんど辞めて、先日からインドネシアの女の子が5人来て働い ております。役場の初任給は15万円程度と聞きました。インドネシアから来て いる女の子の給料は13万円と聞いておりました、何か管理委託をすることによ って、割に合わない思いをしている人がいるのではないかと思ひながら私は出 入りしておりますが、寒い冬に部屋に入って見たら、せんべい布団1枚敷いて1 枚布団、そんな場所で寝ています。朝ごはん食べるころ見てみると、焼きそ ば半分くらいにバナナ1本で非常に惨めな暮らしをしています。可哀そうだと 思ひて私はできるだけ協力して、食事に連れて行ったり弁当を差し入れたりし ていますが、民間委託については、町から老人ホームには補助金を渡している のですか。</p>
<p>藤沢保健福祉部長 自治会員 E</p>	<p>補助金としては何も出していません。</p> <p>他のところのニュースを見ると、2千万円程度で児童館を民間に委託したなど あったので、何かそういうのがあるのかと思ひていました。</p> <p>委託料としてはお支払いしています。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>外国から何百キロも離れたところへ来て働いているのにも関わらず、非常に 侘びしい生活をしているということは、もう少し僕らも見てやらなければと思 っています。人材不足で外国から働きに来る人に対しては、1人20万、施設に対 して10万というような報道がされていました。それを町として取り組んでいる かどうかお尋ねしたい。</p>
	<p>外国人の労働者の関係のお話を聞きしました。蓬萊荘に勤めている方々の 生活状況を申し訳ありませんが把握はしてございませんが、新ひだか町で現在 外国人の方が230人ぐらいおります。そのうちの半分ぐらいはインドの方ですけ れども、牧場などに入られてお仕事されております。ベトナムの方などは、静 内の生協にいたりとか、インドネシアの方は蓬萊荘にいたり様々ですが、この 人たちがどんな生活実態なのかということ町としては調査したことがござい ません。町長から言われまして、外国人の方々が何に困っているかというこ ろを調査するようにと仰せつかっておりました、まずは、相談できる窓口が無 いのではないかとこのころで、これらについて町で進めようと動いている状 況でございます。それで、外国人の方も文化も日本とは違いますし、いろい ろな思いでいられる方がいますので、そういうところに話をしに行くなど、町と しては何に困っているのかということ聞く機会をやっていこうと思ひており</p>

<p>自治会員 E</p>	<p>ます。先ほど給料のお話しをされましたけども、昔は日本が円高のときは日本に働きに行きたくて、来ていた方が沢山いたのですが、円安になったことで実入りが少なくなっているという問題もあると思っております。ただ、我々としても今後は、人口減少がこれからますます進みます。高齢化も進みます。外からの人たちの力を借りて、いろいろなところに頼るしかないと思っております。その中ではやはり、外国人の方のお力というのを借りていかなければならないと思っております。地域の生活を守っていくためには、いろいろな方にお手伝いをいただかなければならないと思っております。そういう意味では令和5年度に向けて、そういう対応をしてまいりたいと考えてございますので、ご理解いただきたいと思いますし、今のお話しを聞きましたので、それについては我々の方も確認をさせていただきたいと考えております。</p>
<p>自治会員 A ・指定管理に係る委託料（蓬莱荘）について</p>	<p>そういう制度ができるという新聞の報道を見て、当人に対しては20万、施設に対しては10万と考えているということなので、是非利用できるように進めて欲しいと思います。彼女たちの給料は13万円。そして3万円から10万円仕送りして、そういう中で生活しているのは本当に惨めだと思っておりますので、食べ物とかそういうものを差し入れして、できるだけ手伝いをしてあげようと思っておりますけれども、もしそういう制度が本当に実施されるのであればお願いします。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>私の町内にインドネシア人の女性の方5人が町内会に入れてくれと来ました。それで、どこに勤めるのと聞いたら蓬莱荘ですと。私はうちの町内なので頑張ってくださいと言いました。先ほどと関連があるのですが、蓬莱荘と静寿園の運営につきまして、指定管理者制度をとって委託していますが、委託前の職員は町の職員ですが、1月19日の新聞に出ていました。その記事の内容によりますと、職員だった人が173名いました。それが、現在129名で44名ほどが辞めました。44名も辞めるということは、それなりの理由があったのではないかと思いますけれども、家庭を持っている人もいますから、よほどの決断だと思えますけれども、町としては、やっぱりそちらに移って職員でなくなったとしても、44名も減ることは穏やかではない。職員が移った時にそれだけ減ったのかということ、今後のためにもその辺りの理由を検証しているのではないかと思います。どのように検証してどうなっているかということ、辞めた人のために、お聞きしたいと思います。</p> <p>令和3年度当時173名いたのが、去年の12月、11月ぐらいで、129名だったということですが、辞めた理由はそれぞれあると思っております。ご自分のご都合で辞められた方もおられますし、当初お話しを聞いたのと働き方が違うという理由や、家庭の事情などというお話しを聞いているところもあります。仕事柄、やっぱりきつい仕事ですので、年齢的にもう限界という方もいるとは思っております。一人一人の追跡調査はやったことはございませんが、基本的には</p>

自治会員 A	<p>皆さん、当初は役場から萌さんに移るということでお話しをいただいて、一旦はお勤めになっているのですが、いろいろな諸事情で辞められたのかと思っております。その中では、当初のお話しあったものと違う条件だった、働き方とは違うところがあったとも聞いております。我々としても、いろいろな形で、萌さんにはその職員の採用についてもお願いして、サービス低下とにならないようにとお話しをさせていただいていますが、そうなった中でもやはり、実際、転籍した職員が辞めたということは、非常に残念だと思っております。今後、転籍された職員について、町として理由を確認することは考えておりません。ただ、我々が心配なのは、職員が辞めたことによって、利用されている方々のサービスが低下することの方が厳しいと思っておりますので、萌さんにもお願いしながら、きちんと職員が揃う形で対応していただきたいということは、指導していきたいと考えております。</p>
自治会員 F	<p>藤沢部長も申しましたが、やはり指定管理者の方に、職員に勤務条件や勤務体制などについて町と業者と職員が入っているいろいろ決めていると思います。中には、このように決めたものが実際の勤務体系に合わなかったということも結構あると思いますが、今後のために詳しく検証して、指定管理者といろいろ話し合っただけで決めながら、勤務のずれがあることもあると思います。詳しく調査して決めていった方が良いのではないかと私は思います。</p>
藤沢保健福祉部長	<p>私も詳しいことが解らないのでお聞きしますが、今、蓬莱荘の介護職員さんの入所者に対する定数というのは、現実的に何名なのか、何名不足しているのか。また、委託料を萌さんに支払いしていると聞きましたが、これ委託料は人件費ももちろんあると思いますが、介護職員の定数の分の委託料は、委託料で全部払っていますか。減っていても、定数分の委託料は払っていますか。減っていて人がいないのに、その定数分の委託料を払っていることになると、おかしいという気がします。</p> <p>人数については、介護士の方については充足しているところでございます。ただ看護師さんが1人足りない状況ですので、今は減算して介護報酬をいただいているところなので、今は看護師さんを1人募集していますが、人数的にはそこが充足されてないという状況でございます。</p>
自治会員 F	<p>委託料の関係でございますが、令和2年の予算のときに、総額で約15億円の予算を計上させていただいております。委託料の根拠としては、一つは、職員数、在籍・転籍した職員数の現給の保障額と、ケアハウスのぞみの収支不足分を合わせて、5年間で14億9,960万円ということで予算を取らせていただいたところでございます。これについては、協定書の中で、精算という行為が無いものですから、14億9,960万円を5年間に渡ってお支払いするということで、現在支払いをしております。金額については、別に、管理運営に関する年度協定書を結んでおりますので、その中で支払い時期などを決めているというところでございます。協定の中には精算ということがないので、総額で14億9,960万の</p>

<p>自治会員 B ・人口問題について</p>	<p>お支払いをするという契約になってございます。</p> <p>蓬萊荘の玄関前のアーチですが、ご存じだと思いますけどかなり下の方が錆びています。そういう面の補修は町の方でやりますか。せっかくの施設なのにみすぼらしいと思います。どのように考えていますか。</p> <p>施設整備につきましては、基本的には町で行うことにしております。今回も蓬萊荘等に、夏場が暑いということでエアコンなどを付けたりして、中の施設整備は町の方でやらせていただいております。申し訳ございません、アーチについてはそんなに錆びている感覚が無かったので確認をさせていただいて、危険であれば撤去するか、または違う形で、整備方法をするように考えさせていただきたいと思います。</p> <p>人事のことでいろいろと問題が出てきましたけど、前の岩手県知事の達増さんが、委員長の人口問題研究はあることは知っていると思いますけれども、その本を読みますと、黙って放っておいたら日本沈没なりと大げさなことが書いてあります。それぞれ、新ひだか町、日高あるいは浦河町の将来、あと今から20年、40年先の人口問題がどうなっていくかの数を書いてありました。そのほか問題なのは赤ちゃんを産めるか産めないか。産める人は大体40歳過ぎぐらいまで計算していますが、女性の数が非常に少ない。今年の世界全体で生まれた子どもの数が、今までの中で一番少ない人数になっております。これは新ひだか町だけの問題ではなくて、隣の浦河、日高管内、道、国もみんな大変な問題です。この間の国会でも、赤ちゃんが生まれたら40万円、50万円を給付すると記事も出ておりました。しかし、それは人口問題に対する対策の走りだと思えます。実は私も子どもを育てて、赤ちゃんが産まれた時だけ40万円、50万円もらっても、そんな金をはした金で、将来高校や大学に行ったら1年間で吹っ飛んでしまう金額です。それで、私は町にお願いしたいのは、施設と人数の充足についても意見が出ていましたけれども、今から各町村も将来の人口減少に対する対策というか、そういうものを町の中に担当するようなものを設けて道や国へ働きかけていかないと、人口問題は解決しないと思っております。町では、そういう人口減少に対する総合的な担当というところまでは行ってないでしょうか。その点をやっていけば内容を教えてほしい。将来に向かって、日高管内、あるいは道、国と一体となって、そういう人口問題に取り組んでいかなければならないという準備みたいな心の準備でも構いませんけど、できているのでしょうか。余計な心配はするなというところかもしれないけれども、自分なりに心配しております。</p> <p>かなり幅広いご指摘だったので、総務の立場から現状を申し上げますけれども、今おっしゃったとおり、人口減少は今急激に進んでおまして、国の試算で言いますと、2040年には、新ひだか町の人口は1万2,000人台に落ち込むだろうと予測されております。特に、いわゆる働き手の生産年齢人口は、今後も急</p>
<p>柴田総務部長</p>	

自治会員 A	<p>激に減り続けるわけでごさいます、ここにどう対策をもっていくかが今後の町の将来、大きく影響すると考えております。</p> <p>現在、人口問題の特命を受けて、専門に置いている部署というのは無いのですが、総務部企画課で様々な人口ビジョンというものを作って、対策もいろいろと出ているのですが、端的に申しますと、お亡くなりになる方よりも産まれる方の多い状態や、町から出ていく方よりも入ってくる方が多い状態を作っていかなければ、なかなか人口減は止められません。どんなに楽観的に考えたとしても、今後人口減少が止まるなり、ましてや増えることはまずあり得ないと考えてございます。ただ、そんな中でも、少しでもその速度を遅くする努力ということで、外からの寄せる移住対策ですとか、子育てに対する支援を手厚くしながら、子どもが少しでも多く生まれる状況を作り出して行こう、子どもの少子化の問題については、1市町村だけでやることはそんなに多くないと考えています。やっぱり国策と絡んだ中でやっていかなければ効果的なことにはなっていないのですが、そんな中でも今できることを少しずつ取り組んでいるところでございます。</p> <p>また、一方では、人口減少化においても、町としては皆様が生き生きと過ごせるような環境を同時に作って努力もしなければなりません。先ほど触れました三石ハイヤーの問題についても、公共交通の問題というのは、このままで行くと、乗客はどんどん減っていきます。そうすると、赤字になり採算がとれない状態になるので、民間ベースでやってくれというのは難しい状況も生まれますし、そこに、無尽蔵に赤字補てんを入れていけるのかという難しい問題がありますので、どのような仕組みを作っていなければならぬのか、今後の大きな課題だと思っております。現状は、総体的には、総務部企画課というところで、いろいろお話を伺いながら、個別の政策になると、いろいろなセクションにまたがってきますけれども、一筋縄ではいかず、何かをやればこれが大きく改善するというのは難しいと思いながら、いろいろと取り組んでいるところでございます。お答えになっているか分かりませんが、ご理解願います。</p> <p>先ほどの関連ですけれども、藤澤部長の方から指定管理の場合は精算概念が無いと言っていますけれども、昨年10月25日発行の議会だよりで、町職員だった方が退職して指定管理者のところに就職する場合は、給料の差が違います。役場の職員だったときの町職員だった時の給料と、指定管理を受けたときに給料の差があった場合は、現給保障を5年間しますと町が言っています。その現給を補償する職員が先ほど44名と言いますが、とにかく現給保障する対象者の職員が辞めている。辞めた場合に、その現給保障する金額は分かりませんが、その金額は辞めたら退職者にそもそも払えないです。その現給補償する分は、精算概念が無いと言っていると言っても、その性格上は町に返してもらわないとだめだと思う。これは誰が見ても、そう思います。返してもらわないで指定管理者に全部いっている。全然用途が違います。指定管理者はそれを当てにしているわけではないです。給料ですから。現給保障の中の給料ですか</p>
藤沢保健福祉部長	

<p>自治会員A</p>	<p>ら。その差の給料ですから、それは返してもらう必要がある。協定書に載っていない、返還など精算のことは無いと言うけれど、全く別だと思えます。我々町民からすればそう思えます。別な方法で管理運営費を増やしてあげて、減給保証分は返してもらうというような形をしなかったらおかしいと思う。</p> <p>契約書上は、先ほど言いました約15億円のお金について、5年間でお支払いするという事は契約上の基本協定の中にはあります。だから精算という言葉が一つもないので、基本的にはこの金額をお支払いしなければならないと思っております。ただ、今回、議員の提言書の中にも、その部分については検討の余地があるのではないかというお話しがありますので、そこについては、相手方ともお話しをさせていただかなければならないと思っております。ただ、弁護士さんにもいろいろお話しを聞いて対応していますが、基本的には、令和3年、令和4年に、一旦契約した中身でございますので、その部分については難しいと我々も思っているところでございますが、今後におきましては、議会から精算という言葉ではなくて、今言われたということがありますので、萌さんと協議をさせていただこうと思っております。その中で、もう一つ今言われたのが、状況が変わったものについては、支払っても良いというお話しもありました。確かに今回、電気料とか燃料費について我々が委託をするときと比べると、倍ぐらい経費がかかるような状況になっております。ただ、その部分についてはお支払いする協定になっていませんので、我々としてはお支払い出来ない状況であります。ですから、そういうところも含めまして、早急に今、萌さんとお話しをさせていただこうと考えておりますので、そういう意味では、協定書を今度に変更するという可能性はあると思っておりますが、今ここで、その精算がどうかと言われましても、相手と協議しなければならないと思っておりますので、協議の中で、どうしていくかというところを対応して参りたいと思っております。</p>
<p>自治会員F ・旧三石温泉について</p>	<p>この施設を安定的に継続的に運営してもらうためには、現給補償を充てるのではなくて、別に電気代を払って、現給保障は戻すと、汚い言い方かもしれないけれど、みそもくそも一緒にしないで、そういう分けてきちんとみんなに解るように検討してください。よろしくお願いします。</p>
<p>米田地域振興部長 柴田総務部長</p>	<p>旧三石温泉の件ですが、その問題はあの後どうなりましたか。それと、かなり老朽化しているのは間違いないです。解体するのもすごくお金がかかると思うので、町はなかなか苦慮していると思う。屋根などもぐらぐらしているところもあるので、強風が吹いて飛んで行ったら、国道走っている車にぶつかったら大災害になると個人的には思います。その2点、三石温泉は壊すことができるのか、それと内部の件についてどうなっているのか聞きたいと思えます。</p> <p>1点目のユーチューバーの人が撮影して入ったという件ですけれども、あれ自体は町民の方から情報をいただきまして、すぐに警察に被害届を出しております。</p>

	<p>す。そして警察から連絡がございまして、その本人が分かったということで、もう被害届が出ているので、罪になっていくと思っております。そして、今は、その人が挙げたユーチューブの動画は削除されている状況です。あともう1人、同じように中に入って撮影している人がいますが、それについても、引き続き、警察で投稿した人を探しているということの連絡を受けています。</p> <p>後段の施設自体、今後どうするのかという部分でございしますが、町としましても、基本的にあの状態のままで良いとは思っておりません。解体するなり、新しい物を作るなり、何か現状を変えて行かなければならないという認識は持っていますが、すぐにお金の話しをされると言われるかもしれませんが、財源のハードルがとても高いです。現在、防災関係の補助金や交付金を何とか使って整備出来ないかですとか、内部でいろいろな面から検討を進めておりますが、まだ皆様にこうしますということをお示しできる段階ではないのが現状でございします。ただ、北海道や国とも折衝しながら、何とか有効な財源を使ってあの状態を改善していきたいと取り組んでいるということだけ報告させていただきます。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>19:00～ 大野町長</p> <p>大変どうもありがとうございました。</p> <p>かなり幅広い話題を提示していただきました。皆さんの1番の感心は、病院がどうなるのかということだと思いますが、先ほどから藤沢部長からもお話ししてありますとおり、その点につきましては、また別途お時間をいただいてお話しのお機会を設けるということを考えてございます。</p> <p>あと三石温泉のお話しですけれども、これは私も何年も前からすごく心配しております。おっしゃる通り、強い風が来ると飛散して、国道を走っている車ですとか、下には特養の老人ホームがございしますので、そういうところにも被害が出るようなことになると心配しております。先ほど総務部長がお話ししましたとおり、どんな方法があるのか、どんな財源を引っ張ってこられるということは、今も検討している最中でございます。うまく行けば良いのですが、ハードルが高いところもあります。そこを何とか模索しながら、壊してしまいたいと考えているところでございます。引き続き皆さんにはいろいろなご意見を賜った中で考えていきたいと思っております。</p> <p>先ほど人口減少のお話がありました。これはどこもそうだと思いますけれども、この日高の地域を見ても、うちの町だけ良ければ良いということでは僕はそうは思っておりません。そういう考え方は持っていないで、やはり地域が連携した中で、それぞれの町にある産業を守りながら、人口減少に歯止めをかけるということは大事だと思います。仮にうちの町だけ人がいたとしても、お隣の町の人がいなくなれば購買力も落ちますし、産業としての生産構造も変わってくるということになります。増やすということは出来ないと思っておりますが、減らすスピードを落としていくということが続けていく必要があると思っております。</p> <p>まだ寒い日が続くと思っておりますけれども、お体にお気をつけていただいて、尚且</p>

	<p>つ、インフルエンザがはやってきているということで、先ほど教育長から私に報告ありましたけども、学校では学級閉鎖も出始めているということもありますので、少し気をつけていただければと思います。</p> <p>今晚は本当にありがとうございました。またよろしくお願ひ申し上げます。</p>
閉会	19:00 終了

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月14日（火）13:30 ～ 14:15
会 場	本桐生活館
自治会名	本桐連合自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、</p> <p>佐伯地域振興課長、斉藤地域振興課主幹、森多地域振興課主幹 12人</p> <p>【自治会側】</p> <p>10人（男性10人、女性0人）のほか、町議会議員4人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	13:30～
自治会長挨拶	<p>13:31～</p> <p>皆様こんにちは。この度のまちづくり懇談会の開催に際しましては、各単位自治会に回覧等を通じてご案内を申し上げましたところ、日中にもかかわらずご参集をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃、当町の行政を推進していただいている大野町長さんをはじめ、担当部門の各職員の皆様方には、ご足労いただき誠にありがとうございます。</p> <p>以前には、例年開催されておりました懇談会につきましても、コロナが始まりまして、そのあとと思うように開催が出来ないという事態もございました。この懇談会は、町政の我々町民の率直な要望と、町行政からの回答に対する意見交換を通じて、この町において我々が住みやすい環境を構築するための大切な機会でもあります。どうぞ忌憚のない意見交換を行うことが、地域の発展につながるものであることを願う次第であります。なお、当初、今回の懇談会に予定されていましたが、新ひだか町医療改革プランについての説明は、別の機会に設けられることとなりましたので、ご了解をいただきたくお願い申し上げます。</p> <p>以上申し上げます、本桐連合自治会からの挨拶にかえさせていただきたいと思えます。</p> <p>どうぞよろしく願いをいたします。</p>
町長挨拶	<p>13:32～ 大野町長</p> <p>皆さん、お疲れさまでございます。大野でございます。</p> <p>朝方も雪が積もったようで、今年の正月は穏やかな冬だなと思えますけれども、最近になって帳尻を合わせるかのように雪が降っております。</p> <p>コロナの関係につきましても、国でいろいろな検討がなされておりました、皆さんもマスクをしていますけれども、マスクをどうするかということも3月には詳しく出てくると思っております。</p>

	<p>町の中におきましては、大分発生数が下火になったように思いますけれども、病院や介護施設関係でも、少し出ております。私も昨年11月にコロナにかかりましたが、幸いなことに軽く済みました。引き続き皆さんも感染防止対策をしていただきたいと思います。</p> <p>我々からは、2点につきまして、皆様方にご説明したいと思っておりますので、忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
職員紹介	13:34～
資料説明	<p>13:36～ 渡辺町立病院事務長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について ・マイナンバーカードを活用したコンビニエンスストア等での住民票等交付サービス（コンビニ交付）の実施について
<p>質疑 自治会員A</p> <p>米田地域振興部長</p>	<p>13:45～</p> <p>コンビニでの住民票の交付ですが、料金等は従来と変わらないのでしょうか。金額の上乗せがあるのでしょうか。</p> <p>現在の条例では、印鑑登録と住民票等は360円となっておりますが、コンビニ交付が始まる時に、他の自治体では安くしているところもありますので、コンビニ交付が始まる前の条例改正で検討してお知らせするということとなります。</p>
<p>意見交換 自治会員B</p> <p>・病院関係について</p> <p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>13:46～</p> <p>今伺っている中で、病院の関係では、先生が変わりますという説明は受けました。しかし、今後の三石国保病院の病院改革プランに対する説明はいつどういう形でしょうと思っているのですか。</p> <p>病院改革プランの関係につきましては、現状の内容に変更がないことからまだ皆様にお知らせする内容が無いということで、今回は計画についてのご説明をさせていただかないということにしております。今回、皆様に町民からのご意見を公表したかと言いますと、以前に地域へ説明に伺った時に、資料を当日配付されて、ここに来て読んでも全く分からないし、どう考えて良いか分からないというご意見もありましたことから、皆さんからいただいたご意見について、広報等でお示しさせていただいたところでございます。現在、議会でも議論をされておりますし、最終的に病院改革プランができれば、皆様とお約束をしておりますので、改めまして内容等についてのご説明をさせていただきたいと考えております。時期としましては、6月から7月の間には皆様に計画の内容等についてご説明できるように対応して参りたいと考えてございます。また、今回病院改革プランの内容をお聞きしなかった理由としては、おそらく病院改革プランの話をしてしまうとまちづくり懇談会がそれ一色になってしまう、他に大切な皆様からのご要望が話せなくなる状況になるということもございましたので、病院改革プランについては、別途ご説明をさせていただきたいということで、各連合自治会長さんをお願いをさせていただいたこととありますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>

<p>自治会員 B</p>	<p>三石地区の老人クラブの中での会話の中で一番多いのが病院。医療体制がどうなるということで、資料には病院の赤字だとかいろいろなことが書いてありますけれども、特に在宅診療について改革の案として一番大きく掲げてございます。その関係の詳細について聞きたいというのが主で、老人クラブの会合の中で一番心配されているということです。これから我々高齢者が運転免許証を返上するという年齢の人がかなり増えて来ていますし、実際その後どうしたら良いのかということは、みんなが話していることです。私自身も、免許を返上したら、ここにいるかどうかということは真剣に考えています。病院体制の整ったところに転居という考え方も持っています。今細かいことをお話ししたくないということですから、特別突っ込むことも出来ませんが、今まで町の議会を見ても、議員協議会という中で、いろいろ話しをされていますけれども、私が見ていても話が打ち切られる、議員の皆さん方が本当にみんな発言して、思い思いのことを話していると思えません。途中で話しが打ち切られているように感じる。高齢者が多い我が町の中で、一番関心があるのは医療問題です。自治会のいろいろな問題については、それぞれ自治会長さんや、単位自治会長さんが努力されて、町の方とお話しされているので、みんなはそれについては特に問題はないと思っている。</p> <p>先日の新聞報道を見た時に、徳洲会病院が新設すると報道が出ています。そういうことを考えた中で、今度報告会する時は、病院の会計体制が本当に大丈夫なのか。静内病院も、道立病院の会計がもたないから、あるお土産をつけて静内町に渡したのが実情です。そうしたときに、徳洲会病院の民間病院が大きな病院改革施設を作るということになると、本当に今言っている町の体制ができるのか。</p> <p>三石の診療所の関係については、三浦先生が退職されるということは残念ですが、やむを得ないことだと思います。そして、後任の先生が決まっているということで一つ安心してはいますが、一番の問題は、高齢による免許返上で動けなくなってくるのが大半ということです。そのことを十二分に考慮した中で6月・7月の報告会を行っていただきたいということを申し上げておきたいと思っております。希望しておきます。</p>
<p>自治会員 B ・ごみ問題について 米田地域振興部長</p>	<p>長年の問題であります本桐第1のごみの問題です。私しばらく進展を聞いていなかったので説明していただきたいと思っております。</p> <p>南歌笛橋の付近のごみのことですが、この問題はもう10年ぐらいなると思いますが、知事からの命令書が2回ほど出ています。それでも、本人の改善の動きはありません。一昨年11月に警察の捜査が入りました。道警と振興局と町と三者で、中のごみを調べまして、道警がそのデータを持ち帰り、そこに持ってきた業者も調べたようです。ただ、そこから深いところは町には報告は来ていませんが、その後も、振興局が産業廃棄物だということで、毎月こちらに来て本人と話しをしたり、本人に振興局に出向くようにということで指導したりと</p>

自治会員 B	<p>いうことはしているようですが、見た目では進展が見られていない状況ですけども、毎月本人へ指導をしているということは、町にも報告が来ている状況でございます。</p>
米田地域振興部長	<p>本人とは、あの人の土地を借りてやっていた業者ですか。それとも土地の所有者ですか。どちらですか。</p>
自治会員 C	<p>土地の所有者です。警察が持ち込んだ業者に対して指導したかどうかは報告を受けていないのでわかりません。しかし、土地の所有者に対しての振興局からの指導については、毎月報告を受けています。</p>
米田地域振興部長	<p>この土地の所有者のところに産業廃棄物みたいなものを持ち込んでいます。山になっている道路の反対側、自分の家の方にまた持ち込んでいます。今までの堆積物もそうですが我々はあれが無くなることを願っているわけですから、その点はどうか。</p>
自治会員 B	<p>警察の方が今捜査していることで聞いていますし、今ごみが増えているということも振興局でも町でも分かっていますし、警察と情報は共有してございます。</p>
米田地域振興部長	<p>調査していると言いますがけれども、実際に片づけることができるのですか。本人はそんな財力もないでしょう。人の話しをまともに聞く人ではない。それだけにどうするのか。警察に頼んでいるとか、道に頼んでいるとかいろいろなことを言っているけれども、地元の関連ある町としてどう動こうとしているのかということをお聞きしたいです。</p>
自治会員 C	<p>町で願っているのは、持ち込んだ業者さんに持ち込んだごみを持って行って欲しいということを願っています。それを今警察が動いているという状況でございます。</p>
自治会員 A	<p>なるべく良い進展があるように希望しております。このごみ問題は溜まってしまってから対応するのでは遅い。群馬県の桐生市でも大変な量のゴミが民事だということで市は手を付けられない。全国どこにでもあります。結局は、公のお金を引っ張り出してきて処分する。もう本当に役所の皆さんが本当に苦労されていることは分かるのですが、それだったらもっと厳しいというか迅速に対応できるような条例を作って対応していただけないかと思えます。これは国会にお願いするべきものかもしれないですけど。もう幾つも事例見えますから。お役所の人は、自分たちのやれる範囲内で、3回、4回、5回、6回、30回対応していますと言っても、進展がない折衝の仕方ではどうにもならない。それはやっぱり法律などを使うしかないと思えます。だから希望として、こういう問題には新ひだか町は、目ざとく見つけたら対応していくということ</p>

米田地域振興部長	<p>を希望いたします。</p> <p>私もインターネットで調べてみたところ、意外なことが出てきました。悪質な業者さんと言いますが、そういう業者さんも横のつながりが若干あるらしくて、行政は何も出来ない、手出しが出来ない、強制執行も出来ない、だからそういうことを続けていても、手入れをくろうということにはなかなか至らない。なったらなったら、逮捕状をスルーする措置がある。そうなってくると手荒なことはしてこないだろうと見られてしまう。やっぱり町は地方自治体として何らかの解決に結びつけられるような、あるいはそういう業者がそれを撤去せざるを得ないような条例など、国の法律などと関連もあるでしょうけれども、やはりそこに踏み込んでいただかないとこういう問題は全国に次々と飛び火をして、そういう強硬な措置が取られないのだということで、野放しになってしまう。そういうことを許してしまうということになるのではないかなと思っていますので、やはり、これは町議会とも十分に議論を詰めた上で、できるところまで思い切って踏み込んでいくという措置を取っていただきたいと要望いたします。</p>
自治会員C	<p>町としても皆さんと本当に同じ気持ちです。あの状況を見たら、本当に情けないという思いで一杯です。何とかごみを減らして、綺麗にしていきたいと思っていますけれども、警察が入った時点で何らかの罰則があるだろうと思っていたのですが、今調査しているだけでその他の話しは何も聞いてない。今のところ罪にはなっていないということです。ただ、これから警察がどのような形で進んでいくのかまだ分かりませんが、そこもきちんと見ていきながら、振興局とも話し合いながら進めていきたいと思っています。本当に皆さんと同じ考えで町はいるということをご理解ください。</p>
自治会員A ・大雨等による冠水について	<p>最後に一言、群馬県の桐生市の問題です。それも外国人が、桐生市の一部の土地を買って、そこに塀を建てて、そして他県からごみをどんどん入れている。どうなるか私も分かりませんが、そういう現状です。何とかよろしくお願ひします。</p> <p>要望事項で上げてありますが、私の住んでいる上本桐で長年の懸案となっているのですが、シュムロ川というのが2本ありまして、大排水の方ですけども、大雨の時に竹内牧場の入り口の過ぎた辺りから、長手さんの別家のところ、富沢へ向かう分岐するところの近くまで大雨のときに道路が冠水ということが過去に何度もありました。</p> <p>平成30年3月に大雨があった時に、その時もすごい量の水が降りまして、氷も乗ったから、そのときは私もユンボを借りて、氷をよける手伝いをしたことがあります。その後は、冠水するようなことは無かったのですが、やはり道路が冠水等で通れない。その先がどうなっているか分からないのでは車は通れない。先に申し上げたとおり、平成30年の時には、30センチぐらいも水が乗って</p>

水谷産業建設部長	<p>車は通れない状態でしたが、幸いに水が落ちていく反対側は採草地で、大きな被害には至らなかったと思いますけれども、もしアスファルトが欠け始めたりしたら大変なことになってしまう。過去には、嵩上げなどもお願いしたわけですが、予算の関係もあるでしょうし、嵩上げは無理だという回答をいただいています。今度大雨があったときに調査をして対策を施しますということだったのですけれども、私は去年の要望のときに素人ですけれどもペーパーにこのような対策はどうかということも併せてあげてあります。予算の関係もあるでしょうから、できるだけ少ない費用で早急にその措置ができるような、水が乗らないような措置を施していただきたいと願っています。これは長年のお願いとして申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
自治会員 A	<p>平成30年3月の冠水被害は、私どもも承知しております。現場の写真を見せていただきました。融雪時期と重なって、氷が排水管等を塞ぎ止めて冠水したという状況でした。その対策の一つとして、道路と隣接している河川の埋塞の除去の予算をつけて、年次計画を立てて進めているところです。河川土砂を除去し、河川の流下能力を上げて冠水対策の重要な対策の一つとなるということでも進めております。なかなか町道の嵩上げというのは、かなり費用もかかるので難しいところがありますが、冠水の対策となる土砂除去を進めておりますので、ご理解いただきたいというところと、他にもいろいろとその対策などについて検討したいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
水谷産業建設部長	<p>私が見るところ、もうその部分は100メートルぐらいですけれども、道路が下がってしまっていて、川の土砂を少し除去したところで解決には結びつかないと思っています。道路が下がっているものですから、水かさが上がってくれば反対側の牧草地は勿論、それを上回って道路に上がってくるということです。私の素人アイデアとして提出したのは、ガードレールのようなものを作っただいて、鉄板かあるいは樹脂などで塞ぐようにするとその前後はどうするということも出てくるかもしれませんが、ある程度水の量が多く流れる事態は避けられるだろうと考えたわけです。できるだけ費用がかからないような形で、安心できるような措置を取っていただきたいと思います。本州での水害を見ますと、思いがけないことが起きてしまっている。もう僅か1日のうちに2か月3か月分の雨が降ってしまうという事態も起きています。従来には考えられなかった集中豪雨が起きているわけですから、何が起こるか分からないと私たちは恐怖を感じるわけです。その点もご考慮いただきまして、対策のほどよろしくお願いしたいと思います。</p>
自治会員 B	<p>今のご意見を参考にしながら、いろいろと調査研究を進めて、何か対策を考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>私はその流域にいますが、私のところには水が乗らないです。何故かということ、全部上の100メートルから150メートルの間でシュムロ川に流れてしまう。</p>

	<p>乗るのは大排水です。大排水が氾濫してシュムロ川に行きます。それが流れていって、円昌寺や本桐牧場も含めて、そちらに被害が出ているという状況です。何年前かに、道路から川側に、神社のところ辺りから本桐生活館の方まで水が道路から全部つかりました。そういうこともありますから、本当に大変なことだと思いますけれども、どこかを止めればどこかに被害が行くということです。</p> <p>古い話しですが、私が20代の頃だと思いますが、大雨で本桐墓地の向こう側の歌笛から流れてくる土手を水が乗り越えて全部流れたことがあります。それからそんな大雨は降っていませんが、今の内地の状況を見る時に、どこで何が起きるかわからないので、そのためには避難する場所がどうだということだけは、はっきりと示しておいてもらいたい。例えば三石スポーツセンターが避難場所ですと言われても行けないです。円昌寺の下は車も通れる状況では無いのでスポーツセンターまで行けないです。だから雨に当たりながら山の上に行くしかないです。だから、そういったことを含めて避難対策もきっちり考えておいていただきたいということをお願いしときます。</p>
閉会挨拶	<p>14:15～ 大野町長</p> <p>ごみについては、歌笛地区の懇談会でも話しが出ました。詳しい状況は警察から入ってきている状況ではありませんが、内々に確認して、皆さんに教えることは出来ないかもしれませんが、動いてみたいと思っています。</p> <p>河川の関係ですが、川も沢山ありまして、結構予算を増額して埋設や除去を進めてきておりますけれども、なかなか抜本的なところまでにはまだ時間がかかります。今のように具体的な箇所を言っていただければ、どのような方法があるかは前向きに検討していきたいと思いますので、また現場も見させていただいた中で考えていきたいと思いますのでご理解をいただきたいと思います。</p> <p>本日は本当にありがとうございました。またこういう機会をよろしく願い申し上げます。</p>
閉会	14:15 終了

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月27日（月）16:00～17:06
会 場	新ひだか町役場静内庁舎3階第1.2会議室
自治会名	未開催自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、片山教育部長、米田地域振興部長、渡辺町立病院事務長、</p> <p>樋爪企画課長、村岡企画課主幹、田中企画課主査、山下企画課主査 13人</p> <p>【自治会側】</p> <p>24人（男性23人、女性1人）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	16:00～ 樋爪企画課長
町長挨拶	<p>16:01～ 大野町長</p> <p>皆さん、お疲れさまでございます。</p> <p>外は春らしい感じがしますが寒さが残っています。最近では雪が多く降っておりまして、町の予算の除雪費も足りなくなってきました。これ以上降らないで早く春が来てほしいと思っています。</p> <p>一方でコロナの状況ですが、私の方には定期的にどれくらいの方が発生しているのか連絡が入ってきています。日高振興局が押さえている数の状況が入ってきますが、最近では2人、3人という数値で推移しています。ただし、コロナにかかっている場所ですが、最近では病院などで発生しておりまして、閉鎖された空間ではまだまだ感染している状況です。5月8日になりましたら取扱いが変わりますが、ご自身の健康のためにはしばらくの間は用心した方が良くはないかと思えます。</p> <p>今日は未開催地区の皆さんにお集りいただいておりますけれども、私どもの方からは1点だけの情報提供になりますがよろしく願いいたします。</p> <p>この際、何かご意見がございましたら最後にお伺いしたいと思いますのでよろしく願い申し上げます。</p>
職員紹介	16:02～ 樋爪企画課長
資料説明	<p>16:05～ 渡辺町立病院事務長</p> <p>・令和5年度三石国保病院の診療体制に変更について</p>
質 疑	16:08～ なし

<p>意見交換 自治会員 A ・警察の個人情報 の開示につ いて</p>	<p>16:08～ 私どもの自治会では単独世帯が増えてきている。2年間で単独世帯の方で亡くなったのが3件あり、その中で警察が入った際に、私の方で警察にお聞きしたら、警察では個人情報だから教えられませんと返答があった。町としてどこのセクションで対応するか分からないが、これまで自治会費を納めてもらって亡くなった最後のお別れをすることに対して、個人情報だから教えられませんと言うのであれば、自治会長をやっていて行政とのつながりがそこで切れると思う。セクションはどこなのか教えていただきたい。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>おっしゃられたとおり、老人の単独世帯でお亡くなりになられている方は私どもにもお知らせいただいております。特に自治会長さんをはじめ、大家さんから新聞が何日も入ったままになっているなどと連絡をいただいております。その都度福祉課で様子を見に行くことにしています。一報は福祉課に連絡をいただければ我々で対応させていただきます。公営住宅については、福祉課か建設課に連絡をいただければ我々の方で動きまして、警察と連絡を密にして対応させていただきますので、近隣の単独の方々が様子が変わりましたら役場ならどこでも良いと思います。基本的には福祉課が担当ですが、役場に一報をいただければ対応いたしますし、それ以外にも保健福祉センターのも包括支援グループがありますので、そちらでも相談を行っておりますので連絡をいただければと思います。 役場であればどこでも対応させていただきますので、これからもご協力をお願いいたします。</p>
<p>自治会員 A</p>	<p>分かりました。去年から3件出まして、警察から近所の方が根掘り葉掘り事情を聞かれて、最後に私が自治会長として確認するため警察に電話をしたら、個人情報ですから教えられませんと言われたら、どう対応したらよいかとなる。役場からも強く警察に言っていただけないでしょうか。私たちの持っているデータの方が皆さんよりも1件1件の個人情報を持っている。自治会としてはそういうものに使いませんが、いろいろな形で皆さんとのやり取りができるようにしている。できなくなるということは、私たちが自治会を分かっている何も意味がないものになる。警察に言っていただきたいのは、個人情報だから扱えませんというのは一般の人に言うことであって、自治会長が家庭の事情も知っているから一報を入れているのに、個人情報だから教えられませんと。挙句の果てに、いつ葬儀が終わったかの連絡もない。いまだに1本も電話がない。途中で連絡をしているのに警察の方は何て言ったと思いますか。「葬儀はそちらでやってくれるのですか」と。私もふざけるなど言いたいくらいです。今まで皆さんに協力してもらって自治会の運営などにも携わってもらい、亡くなって最後の務めをするのに、そういうことまで気を配ってもらいたい。私たちを守ってくれる警察官が言う言葉ではない。それで町ではどこかと聞いた。町からは対応しますのでどこでもいいから言ってくださいと返答をもらった。一般的に守ってくれる警察官が個人情報ですから教えられませんなんてとんでもない</p>

<p>大野町長</p>	<p>話だ。町からも強く言って、今後こういうことがないように、自治会長からこういうことがあったと言えればわかると思う。</p> <p>もう1軒の方は、単独世帯で一緒に住んでない娘さんがたまたまその日に行けなかったため、母親に電話しても出ないし、どこか行っているのかと思って家にきたら椅子に座って亡くなっていた。そういう悲しいこともある。押せば連絡できる機械もあるはず。そういうことを町で考えてほしいし、町でもお金がかかることは分かります。今は世帯が60軒くらいあるが、半分くらいが単独世帯です。家族が地域に顔を出してくれば良いが、そうではないために私たちは常に声掛け運動をしようと言っています。朝会ったら挨拶や元気だったかいと声掛けして、みんなが安心して暮らせる町になると私は思う。それが無くなってくるとどこ行っても何もできなくなるし、協力もできなくなる。町長からも強く警察に言ってください。よろしくお願いします。</p>
<p>自治会員 B ・自治会組織について</p>	<p>皆さんが一生懸命声掛けしたり、特に独居の方のところは注意しながら生活しておられると思いますので、どのような状況で警察が個人情報のことを言ったのかは別として、自治会活動の中でこのようなことをやりながら長年支え合ってきていることがこの町を支えているということは、警察署長にも会うこともありますので、改めてそのようなことには気を配ってくださいとお話しをしていきたいと思います。個別の事象としてどうだったのかということとは分かりませんが、一般論としてお話ししていきたいと思っておりますのでご理解ください。</p>
<p>樋爪企画課長</p>	<p>自治会の活動している状況を聞いたが、去年の自治会長会議でも出ていたが、うちの自治会では役員の成り手がいない。自治会活動をやっても参加する方がいない。前回の総会では、3つの部を2つにする、あるいは何とかお願いして自治会活動は何とか運営している。最近になって役員をやってくれた数人の方が辞めさせてほしいと言われた。前回の総会にも出たが、自治会を解散しようかと話しが出ました。部を再編してやってきたが、そういう話しが出てしまうと解散ということの話しになる。役員が辞めることは会長にも上がってきていますが、後日役場の担当に相談に参りたいと思うが、自治会が活動しなくなった場合は、自治会費や広報の配布、ごみ箱の管理などいろいろなことが自治会を通じてくるものがある。それはどのようになるか。うちの自治会ばかりでなくて、他の自治会でもあると聞いているが、今後自治会活動に対してどのように対応するのか聞きたい。</p> <p>自治会は、地域で暮らす方々が支え合いながら住みよいまちづくりのための活動を自主的に行う任意の住民組織であり、解散することについては町が直接関与するものではないのですけれども、しかしながら自治会は行政と住民の方々とのパイプ役ということなどから、大変重要な役割を担っていただいていると認識しています。町としても今後も引き続き存続していただきたいと考えております。</p>

	<p>自治会運営においては、自治会長さんをはじめ、皆さんが大変ご苦勞されていることは十分に理解しておりますが、いくつかの自治会長さんからも役員の成り手がなく、役員が高齢化している、会議や行事への参加も少ない、広報の配布についても非常に手間になっている話をいただき、どうしたら良いかという相談が何度か来ていただいている状態です。この状況は全国的に見ても、人口減少や自治会への未加入世帯が多いこと、役員の成り手がいないことなど、大きく問題となっています。更にコロナもあって、地域の交流のあり方も非常に変わってきているということで、町においてもこの状況をそのままにしておくことはいけないだろうと認識しておりますが、現在のところ、これらに対する打開策は見出せていないという状況であります。ただ、町としましては引き続き自治会が存続できる仕組みづくりを検討していきたいと考えており、いろいろなアイデアをいただきながら存続できるような形、もしくは新しい形を見出していきたいと考えています。</p> <p>例えば、解散した場合ですが、町広報の配布につきましては、役場や町有施設に設置しているほか、一部の銀行や郵便局、スーパー、コンビニなどに設置しておりますので、個々で取得していただくこととなります。そのほか、ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください形となります。</p> <p>ゴミステーションの管理については、町で設置の補助をしていますが、自治会やアパートなどから申し込みをいただいて助成していますが、個人の方からの申請は受け付けていない状況です。</p> <p>環境整備については、ごみ拾いや草刈りなどを実施していただいていると思いますが、そこを町で実施する考えは今のところないというところです。</p> <p>また、安心安全の関係ですと、災害などの有事の際には役場ですぐに動けないというところもございますので、住民同士の共助が必要であり、地域の方で声を掛け合っていただくということが大変必要だと考えております。</p> <p>いずれにしましても、町としましては引き続き検討していきたいと考えております。</p>
自治会員C	
樋爪企画課長	<p>お話ししていただいた方は自治会を運営するのに悩まれている。それを実感していただきたい。冒頭で町は直接関係ありませんというようなニュアンスに聞こえるようなお話しでした。皆さん悩んでいます。何とか町の一つの核として自治会を運営していきたい、お手伝いもしたいという思いをたくさん持っていらっしゃる。悩んでいる自治会長がここにきているのですからそれを受け止めていただいて、それをどうやって解決するか皆さん自治会によって全然違うと思う。それを理解していただいたうえで協力していただくということをしていかなかったら、自治会は本当に崩壊しますよ。自治会が崩壊したらまちづくりができないのではないですか。</p> <p>おっしゃるとおりだと思っております。役員の成り手がいない、役員以外メンバーが集まらない、役員会すらも開催が危ぶまれているという声も聞いております。私どももそれらの声を直接自治会さんからアンケートなどして聞いた</p>

<p>自治会員D ・ごみステーションについて</p>	<p>ことはありませんが、今後そういった切実な声、それぞれ自治会さんが取り組まれている活動もとどまってきたと思いますので、調査をさせていただきながら検討していきたいと考えております。</p> <p>冒頭で突き放すような言い方というところで、そのような印象を与えてしまったということについては大変申し訳なく思いますが、私どもも重要な役割を担っていただいているということを十分認識しているところでありますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>
<p>樋爪企画課長</p>	<p>オーダーを少し下げさせてください。高いところの議論になっていて、理想的な話しか出てこないのので、オーダーを少し下げて聞きますけれども、町内全体で何世帯あるか正確にわかりませんが、全員が自治会に入っているわけではないですね。入っていない世帯には広報は渡ります。では、ごみ収集のことは曖昧だったので、入っていない世帯は町としてごみ収集はしないのですか。個人への助成はしないという話しはしていましたが、自治会に入っていない世帯はごみを出すときはどうやって出すのですか。オーダーの低い話しからしていってくれないと100%自治会に入っているわけではないですから。そのところを積み上げていってやらないとどうにもならない。</p>
<p>自治会員D 樋爪企画課長</p>	<p>ごみの件は、新たな設置という部分で助成をしているというところですので、既に設置されているところは収集に回っていると思います。</p>
<p>自治会員D 柴田総務部長</p>	<p>それはわかりましたが、入っていない人はどこにごみを出せばいいのですか。</p> <p>基本的にはご自身でうまっくりんに持って行ってもらうことになります。</p> <p>入ってない人は収集してくれないということですね。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>ごみ収集を町から委託を受けている業者については、自治会に入っている方のごみか、入っていない方のごみか分からないので、定例的に回っているところに集められたごみは今後も回収します。そこに自治会さんが自治会に入っていない方のごみを置かせているのか、置かせていないのか把握はできていませんし、管理は難しいので、たぶん置いているのかなと思います。自治会に入っているか入っていないかに関わらず、平時に回っている収集場所に集まっていれば持っていくのが現状です。</p>
<p>藤沢保健福祉部長</p>	<p>自治会に入っていない人には、町の助成と会費でごみステーションを設置しています。だから入っていない人は入れないでくださいと言ったときに、その人はごみ処理場まで持っていくのですか。具体的に教えてください。そこが明</p>

自治会員D	<p>確にされていないので。</p> <p>基本的には、皆さんにはごみステーションにごみを捨てていただいていると思います。ごみ収集の委託業者にはゴミステーション、ごみステーションがないところはネットを使って場所をきちんと指定していただいで捨てていただいでおります。新たに入ってきた方で自治会のごみ箱には入れられない、近くにないのでごみを捨てる場所がないということであれば、役場に連絡をいただければ、収集場所を指定させていただきます、町から業者に連絡して収集をさせていただきます仕組みになると思います。ただし、ごみの収集場所をたくさん作ると、経費のこともそうですが、収集する時間帯が相当かかりますので、できる限り場所は指定させていただきたいと思います。ごみを捨てるときには、町の指定ごみ袋を使っただき、お金をいただいでしておりますので、基本的にはわざわざごみ処理場に持っていくのではなくて収集はさせていただきたいと思っでおります。</p>
柴田総務部長	<p>私がオーダーを下げて細かい話しをしたのは、自治会そのもののあり方や自治会に対する町の理想的な話しではなく現実的な話しです。障がい者の避難などの研修に出ると必ず自治会の協力と入っでいる。いろいろな意味で自治会は重なっできていると思うが、高齢者の避難を自治会みんなで協力という話しをしても、自治会が高齢化していたら自分で逃げるのがやっでです。そういう実態も十分分かって話しを思っでいると思っでいますが、形式上そのようにしなければならぬということも分かります。しかし、現実にはそういう状況になっできているということも踏まえた中で、町としての自治会に対する基本的な考え方というのをきちんと聞きたい。</p>
自治会員A	<p>現在それに対しては具体的に我が町にだけ特別な事象が発生していて、それを解決すればこうなりますというものがあればやりやすいのかもしれませんが、正直解決策がないというのが現状です。それはいろいろな要素が絡み合っでいると思っでいます。地域の方の人の繋がりを求めていない人たちがいる中で、自治会に対してメリット、デメリットだけでこのことを判断されると、先ほどのごみの問題もそうですが、自治会に入るメリットは何なのかという問題になります。中には地域の繋がりがほしいが、若い人が来るとすぐに役員を押し付けられるとか、そういう点もあるでしょうし、様々な要素が絡み合っでいるので、一概にこうして解決できますとは申し上げられませんが、企画課長が何度も申し上げているように行政運営にとって、まちづくりにとって自治会の皆様という存在が非常に重要な要素だということは確かでございます。それを我々がどのように解決に向けて関われるのかということは安易には答えられませんが、今後もいろいろ勉強をしていきたいと思っでいますし、検討もしていきたいと思っでいます。私の父親も自治会長をやりながら生活館の管理人もやっでおりまして、誰も変わってくれない状況が何年も続っでおります。おっしやっでいることは私も重々分かっておりますので、何か良いムードづくりや気運づくりも考</p>

えながら、若い方々が関わってくるような仕組みを作っていけないと難しいと思いますので、そこは勉強させていただきたいと思います。積極的に関わっていきたく思いますので、アイデアもいただければと思います。

1点目に、私が会長を受けたときには80戸以上の世帯があった。それが今は60世帯ほどに減ってきている。町でどれだけ把握して自治会から意見が上がってきたら、その地域を合併させるか、それも町の指導ではないかと思う。御幸町は第1から第6までであるが、その区域も昔の道路の区切りで切ればいいのに2丁目と3丁目の家の間で切ったりしている。良い機会だから町で見直して、5年ほどの計画を作って地域の割当てを一定の世帯数の範囲で再編するなどして、極端に減ってきたら合併するなどして、高齢化してくるとだんだん自治会活動ができなくなる。

2点目はごみの件ですが、そういうことなら自治会に入らないで、ごみステーションに出さないで持って行ってもらったならごみステーションの掃除をしなくて良いという考えになってしまう。行政側はそういうことは見ていないと思う。ごみステーションは、自治会の何人かの当番制できちんと掃除してくれている。自治会に入らないで行政に連絡してごみの指定場所が増えるとうなるか。そういう考えでなく、これからまちづくりを何とかしていくのであれば、もう少し力を入れてほしい。うちの自治会にも大きなアパートが何軒もある。そうした人たちのところにも私がチラシを作って回った。中には自治会に入りたいという人も何人かいる。私の考えとしては、アパートを建てたら行政が家賃として団体扱いとして安い会費で自治会費をもらう。その代わりにごみはステーションに置いてくださいというように行政の方からも歩み寄っても良いと思う。そういう時代がきていると思う。そういう現場を見ているのか。ごみステーションの掃除などをきちんと見て、行政の方で指導していただきたい。そうしないとマンションは建っても自治会に一切入りません。ごみは出しますとなる。それは衛生面にも良くない。そういう問題をどこで指導するかということになる。行政が歩み寄って協力してもらえないだろうかということもやっても良いと思う。私たちが自治会に入ってくださいとチラシまで作って一軒一軒回っています。

役員も高齢化になってくると役員をやる人が実際にいない。前から町長に言っていますが、役場退職者が積極的に地域の貢献のためにやってくださいと言っても、退職してやってくれるかと思ったらやってくれない人もいます。

アパートなどがあるところは建てたときから行政が指導に入っても良いと思う。家賃の一部として払うことも考えるべきだと思う。少しでも入れば、自治会でも役員手当も出せる。あるところで聞いたが、役員手当を出しているところもある。私たちはボランティアとして一切もらっていないが。結構な金額を出しているところもある。そういうこともなかったら今の人たちはやらないです。そういうところも行政で勉強してもらいたいののでよろしくお願いします。

お気持ちとしてはとてもよく分かります。私も自治会の総務部長をやっ

柴田総務部長

<p>自治会員 B ・役場組織について</p> <p>柴田総務部長</p>	<p>ますし、こちらにいる職員もほとんどが自治会役員をやっていると思うので、自治会のことは重々承知しています。</p> <p>しかし、自治会に対して我々も強制力を持ったことが言えるのかということについては難しい面もあって、自治会に入らないとお金を取るということの関係性づくりはいかがなものかと思imasるので、今のご意見も含めて自治会活動が継続していけるようなものをどう作っていったら良いか勉強しなければならないと思imasし、皆さんからもこういう取り組みをしたいですとか、そういうお話しがあれば、いつでも企画課でお話しを伺imasるので、是非お声掛けをいただきたいと思imas。ご意見として承っておきたいと思imas。</p>
<p>自治会会員 B</p> <p>柴田総務部長</p>	<p>現在自治会について話しが出ているが、町は企画課が担当しているということだが、このように自治会から話しが出た場合、自治会をどうしていくかという組織は現実にはないのか。こういう意見がたくさんあるということについて、役場ではこれから現実には大変な自治会がたくさん出てくるということになれば、これから委員会のような組織を立ち上げる気持ちはないのか。</p> <p>おっしゃられた委員会のようなかしまったものを作る考えはもっていないです。現実に企画課で自治会の解散など様々な相談を受けながら、必要であれば役場の音頭で話し合う場を作ったり、話しが先に進むサポートなどもしています。最近残念ながら解散する話ししかきておらず寂しい状況ですが、先ほど意見のあった自治会同士の合併などもあります。一番良いと思imasのは、隣の自治会長さん同士が一緒になるという話しで合意すれば何も問題ありませんが、難しいので役場で音頭を取ってほしいということであれば、我々も動きますのでお声掛けいただきたいと思imas。いつでも自治会運営でお困りのことがあれば企画課にご相談いただきたい。我々もどこまでできるか限界はありますが、いつでも相談にいらしていただきたいと思imas。</p>
<p>自治会員 F ・災害時の避難所について</p> <p>柴田総務部長</p>	<p>現実に役員の成り手がない、役員を辞めると言われたときに、今でも目一杯で重要なポストの方が辞められたときに自治会は存続しなくなってしまう。それが現実です。</p> <p>残念ながら解散してしまった自治会は存在していますが、ごみや広報の問題があって、自治会は無くすけれども、そこだけは当番制で続けている地区もあります。関わる方々のお気持ちもありますから結果は一樣ではないですが、今後のことも踏まえて皆さんが納得する結論に落ち着くところの中間で行政が話し合いに関わることはできますので、解散はしてほしくないですが、自治会長が一人で抱えて抱えきれない状況であればお話しを伺いたたいと思imasるので、いつでもいらしていただきたいと思imas。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>昨年大雨災害の避難所の件で、避難所が静内三中と山手体育館に設置され避難するよう町から避難指示が出た。ハンドブックでは、大雨の場合は地区毎</p>

自治会員 F	<p>の避難場所で、避難指示が出れば避難所になるが、前回は氾濫の恐れがあるということで、指示が静内三中と山手の広い中で特定されたため遠くて大変だった。地震や津波は分かるが、これからの大雨災害の場合も、地震や津波と同じような避難所になる計画なのか知りたい。</p> <p>昨年6月と8月に大雨がありまして、8月には避難指示を出しました。その時の状況によって安全と考えられる場所は変わってくると思う。今回のケースは雨が止んでいて、今後もこれ以上強く降ることはないであろうという中で、ダムの水の放流が続いていたため水嵩が増して、川が溢れるという危険性だけがありました。その後の市街地の雨量が増えるということはない状態でしたので、それらを踏まえて避難をしていただくエリアを決め、そのエリア外に避難所を設けた結果、あのような形になりました。これが雨の時はあそこだと思ってしまっただけで困るので、その時のケースに応じて臨機応変に変わります。今回はこの避難所は適切でないと思えば指定しませんし、皆さんの移動を考えると近い方がよろしいと思いますので、お近くに安全な場所が確保できればそこを指定したいと思います。</p>
柴田総務部長	<p>3月には、一般的な浸水区域やそのエリア内にある避難場所を記載した新しい防災ハンドブックを3月25日発行の町広報と一緒に配る準備をしています。そこで国や北海道が新たに示した津波の浸水区域などを踏まえて改訂を加えて皆さんにお知らせしたいと思っています。その中で、どの場所を避難場所として指定するのかということは、状況によって変わります。あえて遠くを指定し続けるということはありませんのでご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員 F	<p>新しいハンドブックを見ていないので分からないが、大雨の場合は、緑町地区は静内小学校が避難場所です。今回避難場所を飛び越えて避難指示が静内三中になったので皆さんが大変だった。できれば地区に避難する場所が町から指定されていたから、同じように指定されるのであれば、優先的に近隣の避難場所にならないかと考えております。</p>
柴田総務部長	<p>これまで指定していた施設については、支障がない限りはそのまま指定すると思います。お近くの避難場所が安全に使える状態であれば避難場所として指定することはあると思いますが、今回のケースは静内川が氾濫するかもしれないという想定の中で、緑町、吉野町、青柳町近辺一体の避難場所は指定できないであろうという判断のもとに少し遠くまで行っていただく判断をさせていただきました。今後も近くに安全な場所が確保できるのに遠くにしようとは思っていませんが、避難所運営のこともあるので、指定している施設を全て開設することは対処も難しいし、遅れも出てしまいますので、大きなところをいくつか指定しながら状況によって徐々に拡大していくという措置になると思います。</p> <p>防災の講習会に行くと、自治会として遠くまで行くのは危ないとなると、学</p>

自治会員 F	<p>校が避難場所であれば、管理人がいなくてもドアを破ってでも入れと指導を受けている。そんなことはしません、大雨で静内川が氾濫の危険であれば避難所で一括指示が出ますか。</p>
自治会員 G ・防災アンケートについて	<p>雨によってどのエリアが避難すべき場所になるかにもよりますが、例えば緑町に住んでいる一帯の方が避難すべき状態にあって、近隣の静内小学校に安心して逃げていただけるとなれば、大きな学校施設であれば優先的に避難所になるケースがあります。保健福祉センターになるかもしれませんが、状況によって確実にそこを避難場所に指定しますという断言はできませんが、状況を見ながら臨機応変に判断していきたいと思います。</p>
柴田総務部長	<p>学校の防災学習も、子どもたちも学校がだめなので、高層の公営住宅や静内三中に行ったり学校の防災計画も大変です。自治会も合わせていますが、その当たりを統一できれば助かります。静内小は3階建てで上にフェンスあるのにだめなんだとなります。静内三中に行くとなると遠いため制限される。高齢者が多くて避難できないとなります。その辺りをご配慮いただければと思います。</p> <p>防災のお話しができましたので、防災のアンケートについてと、先日の SNS で起きた児童の誘拐事件について、教育長にお聞きしたいと思います。</p> <p>防災のアンケートの件については、山手小学校が無くなるため防災倉庫として3階を使えないか。1階に防災グッズを展示して、皆さんに知れ渡るような会場にしてほしい。2階は事前にダンボールベットを設置し、避難できるようにした方が良いのではないかという意見を出しました。</p> <p>桜丘小学校も無くなるので、事前に避難した方がいるのであれば、そこに町の職員を配置し、スクールバスなどを置いておいて、そこに避難ができるようにしておけば良いのではないかという意見を総務課に提出した。</p> <p>また、坂道の途中で海拔の高さを書いて、中間地点にもあった方が良いのではないかという意見も出した。返答はもらっていないが考えていただきたい。</p>
自治会員 G	<p>アンケートのご協力ありがとうございました。山手小学校を避難場所に固定して事前にセッティングをしておくということは、災害が起きた時にどのエリアの住民をどこのエリアに逃がすかということは水物で一概に固定できません。地震が起きた場合もなおさらそうですが、その時の建物の状況にもよりますし、津波の到達時間や予想区域にもよるので、山手小学校に逃げるのが安全だという意識付けをすることが住民の命を守ることになるのかという疑問が残るところがあります。そのため、備蓄倉庫を設けて、その時に最も適切な場所を避難場所にして、そこに速やかに避難環境を作ることを行っています。先ほど防災教育で日頃から防災グッズを見られる機会は作っていかねばならないと考えております。</p> <p>また、坂道の途中の海拔の件は、予算も関係するのでいい加減な返答はできませんが、自分の今いる場所がどのくらいの高さかを見られるところが多けれ</p>

<p>・学校での教育方法について</p> <p>久保田教育長</p> <p>自治会員G</p> <p>久保田教育長</p>	<p>ば多いほど良いと思いますので、その充実も持ち帰って担当と検討したいと思いますので、即答できることはないがご意見として検討したいと伺います。</p> <p>あとのことも考えて話しをしているが、行くところがなく避難してきた人たちのために、とりあえず待機してもらったり、食べものなどを用意しておけば良いのではないかと思います。</p> <p>桜丘の意見は、自主的に避難したいという人がいれば、事前に職員が待機していて電話がきたところを回れば、高齢者や体が不自由な方にもすごく良いのではないかと思います。</p> <p>教育長にお話ししたいのは、先日あった10代のお子さんが誘拐にあった事件について、学校ではどのように協議されているのか。今はいろいろなことができる時代になっている。学校では子どもたちにどのように教育しているのかお聞きしたい。</p> <p>ご質問ありがとうございます。今お話しが出た件も含めて、子どもたちはスマホなどのメディアに触れる機会が大変多くなっています。今に始まったことではありませんが、かなり前からそれぞれの学校の中では、SNSやスマホの取り扱いに対しては、かなり時間をかけて指導するようにしています。これは子どもたちだけではなくて、保護者も含めPTAなどの活動の中でも講師の方を呼んでメディアに対する取り組みに対して指導するようにしています。来年度からはアウトメディアとあって、子どもたちはスマホやゲームに触れる時間が長いです。それをセーブするような取り組みをPTAや学校合わせて町全体の取り組みとして来年度から進めていきたいと思っています。</p> <p>いろいろな機会でも事件や事故が他で起きていますが、各学校ではその都度、朝の会などで取り上げて指導するようにして、同じような事件に巻き込まれないよう日常的に指導を行っています。</p> <p>スマホに関してははじめなどのこともありますので、そういう教育もやっていただきたいと思います。</p> <p>子どもたちの安心安全を第一に考えておりますので、今後もいろいろな形で地域の方のご協力をいただいて進めていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>17:03～ 大野町長</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>正直な感想を述べさせていただきます。自治会の問題ですが、私が聞いていて寂しくなりました。恐らく皆さんがこれまで頑張ってきて、これ以上頑張れないというところが出たのかと思います。</p> <p>ごみステーションの話も、カラスが寄ってくるころは、カラスがくちばしでつつかないようにダンボール箱を張って止めるなど、いろいろな工夫をしている姿を見てきています。ごみステーションの管理をすることはとても大変</p>

	<p>なことです。散らかれば自分で掃除しなければならない。皆さんがこれほど自治会に対していろいろなことをやってくれて、いろいろなお声をいただいたということは限界がきているということだと受け止めておりますけれども、恐らく抜本的な対策はないと思います。今は札幌市などいろいろなところでも条例を作っています。条例を作っても自治会活動が今まで以上なものになるかいうと本当に難しいと思います。ですからこの問題について対策は何をやるかは難しいですが、まちづくりというのは人と人とのつながりだと思っていますので、そこが希薄になってきているということが一番の障害になっていると思います。例えば、公園で遊んでいる子どもが悪いことをしたら怒れない時代になってきています。怒るような人付き合いができる地域であってほしいと思いますので、体がきく限り自治会活動をお願いしたいと思いますし、その間にまちづくりをどうしていくかということは役場で責任を持って検討していきたいと思いますので、頑張ってくださいたいとお願いを申し上げてご挨拶とさせていただきます。</p> <p>今後ともよろしくお願ひ申し上げます。</p>
閉 会	17:06 終了